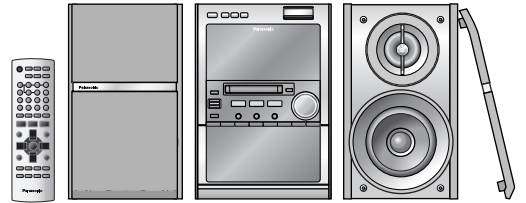
Panasonic®

取扱説明書

SD ステレオシステム

品番 SC-PM710SD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

30 ページ

CD→MDへ、最大7倍速／

CD→SDへ、最大4倍速で録る！

高速録音で快適・便利！

65 ページ

大容量でコンパクト！パソコンに保存も…

SDに録ってつながる、広がる！

保証書別添付

上手に使って上手に節電

6 ページ

電源を切っても表示部が光る!?

「デモ機能」を OFF にしてください。

このたびは、SD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(66 ～ 68 ページ) はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

32、34ページ
MD／SDに長時間で録るなら「LPモード」、カーオーディオでMDを聞くなら「SPモード」で録音など、
録音使い分け！

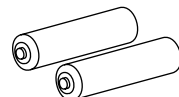
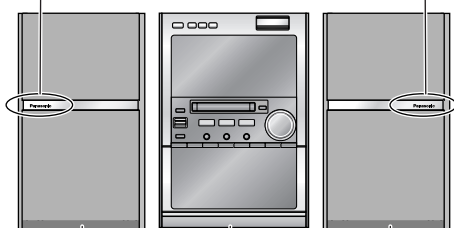
58ページ
お気に入りのラジオ講座は
「留守録タイマー」で録り忘れを防ぐ！

60ページ
ポータブルMDとつなげて…
大好きな曲をMD／SDに残そう！

6
ページ
電源を切っても
表示部が光る!?
「デモ機能」を OFF に
してください。

付属品/設置/リモコンの準備

付属品を確認してください

★ FM簡易型アンテナ（1本）【RSA0007-L】
★ AMループアンテナ（1本）【N1DAAAA00001】
★ 電源コード（1本）【RJA0012-K】
★ リモコン（1コ）【N2QAJB000129】
リモコン用乾電池（単3形：2本）

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト
「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense
パナセンスカスタマーセンター
TEL　06-6907-9144
http://www.sense.panasonic.co.jp/

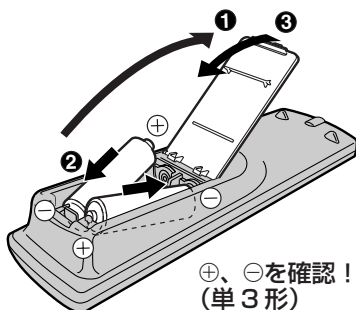
本機はこのように置きます

SDステレオシステム（SC-PM710SD）

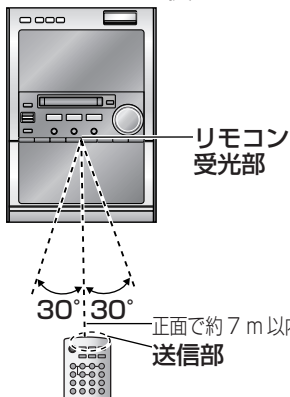
左スピーカー (SB-PM710)　センターユニット (SA-PM710SD)　右スピーカー (SB-PM710)

●センターユニットとスピーカーは1 cm以上離す。

■スピーカーについて

スピーカーは防磁設計ではありません。

●パソコンやテレビなどの近くに置く場合は、10 cm以上離してください。

■より良い音響効果を得るために

●平らで安定した場所に設置する。
●堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
●左右のスピーカーの間隔を広げる。
●壁から5 cm以上離して設置する。

リモコンはこのように使います

■乾電池(付属)の入れかた

リモコンのうら面

⊕、⊖を確認！
（単3形）

■リモコンの使いかた

■使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■他の機器が誤動作するとき

他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。
（☞ 76ページ）

(お知らせ)
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- カッコ【　】内は、買い替え時の品番です。（2004 年 12 月現在のものです）

お願い
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
  - 音がひずんだとき
  - 音質を調整するとき

移動するときは
まず、CDやMD、SD、テープをすべて取り出しておくのね

本機を移動するとき
① CD、MD、SD、テープをすべて取り出す。
② [POWER ⏻/I] を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD、MD を良い音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

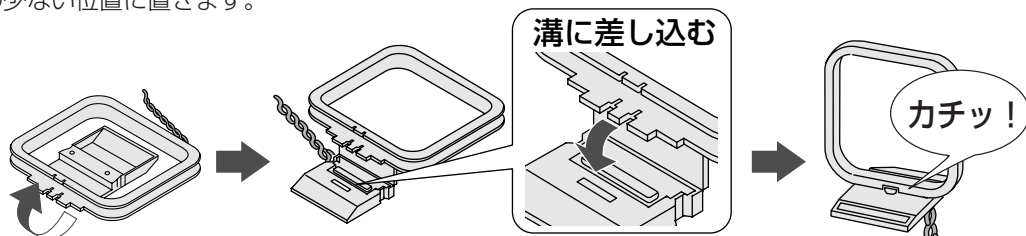
著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD や SD またはテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

接続のしかた

1 AMループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 26ページ）
雑音の少ない位置に置きます。

溝に差し込む

カチッ！

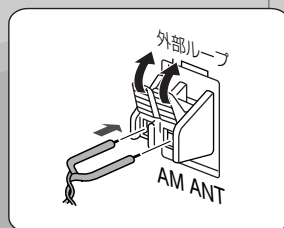
外部ループ
AM ANT
FM ANT
AUX

■ 別売り機器をつなげて聞く／録る

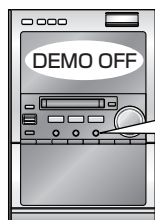
●ポータブルMD

●テレビ

などをつなぐ
（☞ 60ページ）

➡ AUX端子へ

電源を切っても表示部が光る!?

5 デモ機能

電源「切」の状態で表示部が点灯（デモ機能）するときは、デモ機能「OFF」にしてください。

STOP■
–DEMO

デモ機能動作中に“DEMO OFF”と表示されるまで押したままにする

押すたびに
DEMO OFF（切）
↑ ↓
DEMO ON（入）

2 FM簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 26ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

AC入力～

⊕ ⊖⊖ ⊕
L
R
HIGH (6Ω) LOW (6Ω)

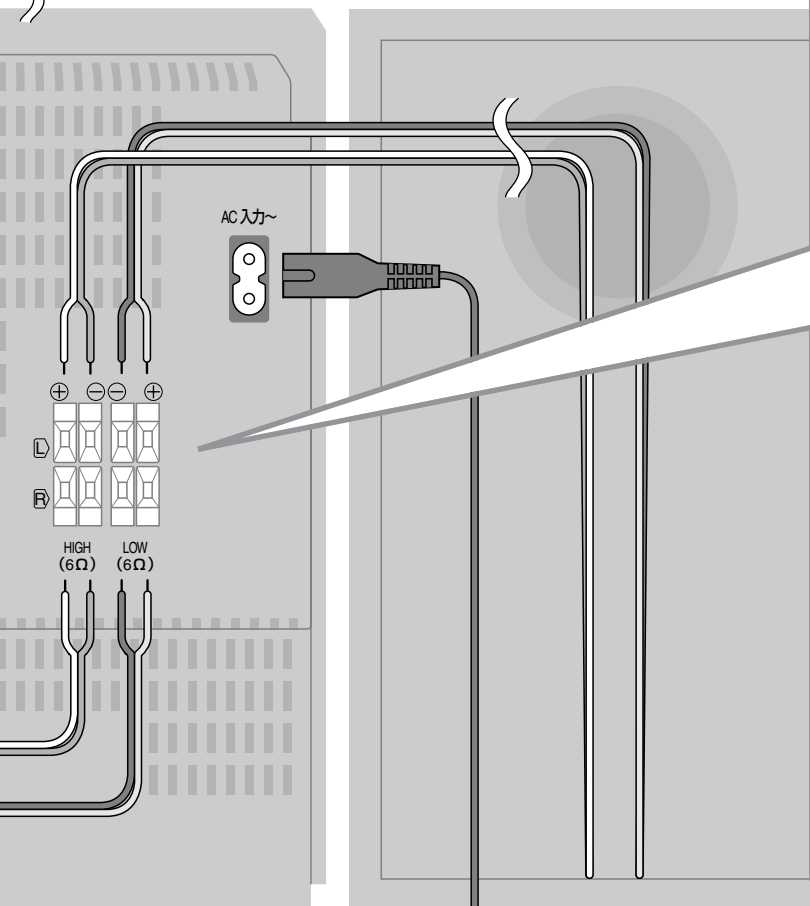
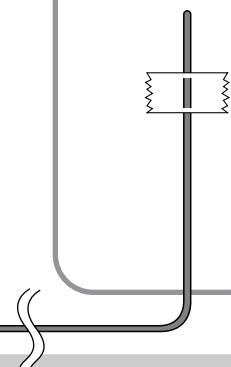
3 スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

お願い

- **誤った接続をすると、故障の原因になります。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

お知らせ

- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
- 他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。

お知らせ

- 本機の時計をあわせる（☞ 56ページ）とデモ機能は自動的に「切」になります。

家庭用電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

4 電源コード

電源コードは最後に接続します。

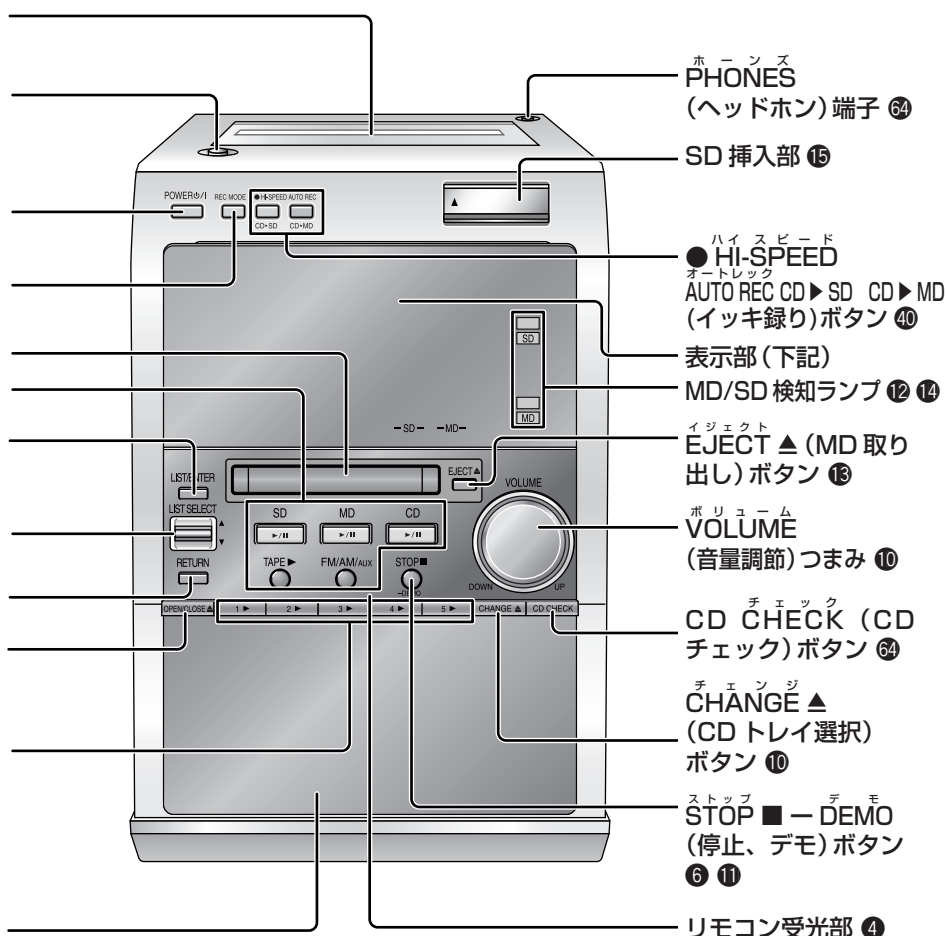
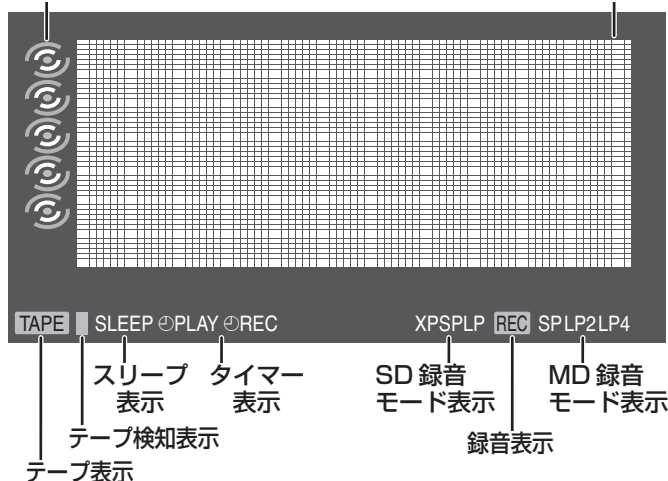
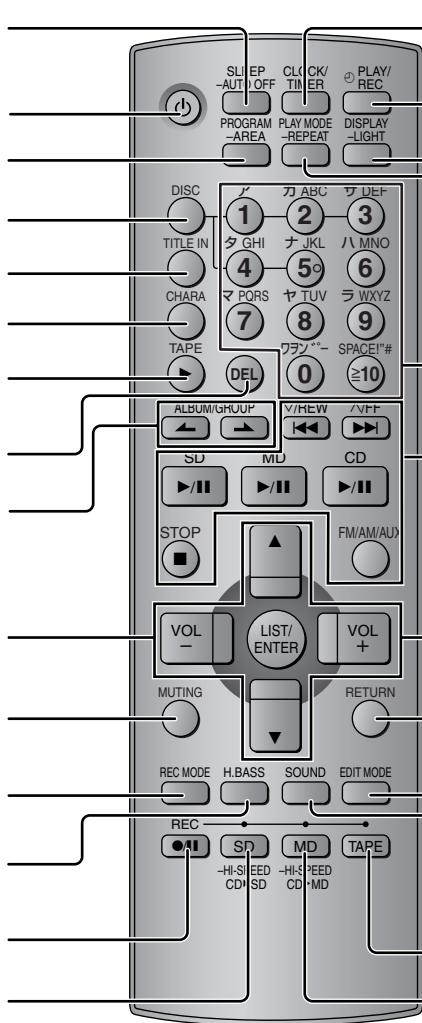
- 電源コードを抜くときは…

① POWER⏻/I を押す。
② "GOODBYE"の表示が消えてから抜く。

各部のなまえ

㉕ などの数字は参照ページです。

本体

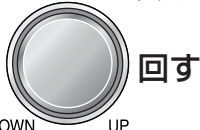
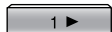
- テープホルダー
- OPEN ▲（テープホルダー開）ボタン ㉕
- POWER ⏻/I（電源）ボタン ⑩
- REC MODE（MD/SD 録音モード）ボタン ㉝ ㉟
- MD 挿入口
- メイン操作部
- LIST/ENTER（リスト/決定）ボタン ㉒
- LIST SELECT（リスト選択）つまみ ㉓
- RETURN ボタン ㉓
- OPEN / CLOSE ▲（CD トレイ開閉）ボタン ⑪
- 1▶～5▶（CD ダイレクトプレイ/CD 選択）ボタン ⑪
- CD トレイふた
- PHONES（ヘッドホン）端子 64
- SD 挿入部 ⑮
- ● HI-SPEED AUTO REC CD▶SD　CD▶MD（イッキ録り）ボタン ㊵
- 表示部（下記）
- MD/SD 検知ランプ ⑫ ⑭
- EJECT ▲（MD 取り出し）ボタン ⑬
- VOLUME（音量調節）つまみ ⑩
- CD CHECK（CD チェック）ボタン 64
- CHANGE ▲（CD トレイ選択）ボタン ⑩
- STOP ■ ー DEMO（停止、デモ）ボタン ❻ ⑪
- リモコン受光部 ❹

表示部

■スクリーンセーバー（焼き付き防止用）の表示について

オートオフ（☞ 58 ページ）を設定してないとき、ボタン操作のない状態が約 10 分続くと表示がスクリーンセーバーに変わります。この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。
オートオフ設定時は、スクリーンセーバーは働きません。

リモコン

準備

各部のなまえ

CD を聞く
電源
POWER⏻/I
REC MODE
HI-SPEED AUTO REC
CD•SD
CD•MD
SD
MD
LIST/ENTER
LIST SELECT
RETURN
EJECT▲
VOLUME
SD
MD
CD
TAPE▶
FM/AM/AUX
STOP■
DOWN
UP
OPEN/CLOSE▲
1 ▶
2 ▶
3 ▶
4 ▶
5 ▶
CHANGE▲
CD CHECK
SLEEP –AUTO OFF
CLOCK/TIMER
PLAY/REC
PROGRAM –AREA
PLAY MODE –REPEAT
DISPLAY –LIGHT
DISC
TITLE IN
CHARA
TAPE
DEL
ALBUM/GROUP
∨/REW
∧/FF
STOP
FM/AM/AUX
VOL –
VOL +
LIST/ENTER
MUTING
RETURN
REC MODE
H.BASS
SOUND
EDIT MODE
REC
1
CD を入れる
2
再生方法を選ぶ
（1 枚またはすべて）
3
再生する
音量を調節する
本体
小さく
VOLUME
大きく
回す
DOWN
UP
リモコン
小さく
大きく
VOL –
VOL +
押す
VOLUME 23
0（最小）
50（最大）
再生中に他の CD を取り出すには（CD チェンジ）
本体
10 秒以内
CHANGE ▲ 押して
1 ▶ ・・・ 5 ▶ 押す
選んだトレイが開きます。
（閉めるには、もう一度［CHANGE ▲］を押す）
CD Disc ?
■停止する
■一時停止する
■曲を飛ばす
（スキップ）

① 1► 2► 3► 4► 5►
好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

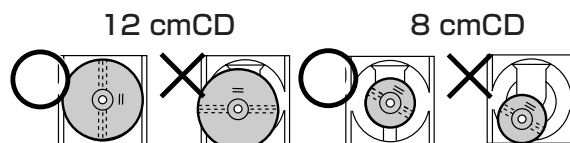
●すでにトレイに CD が入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

② OPEN/CLOSE▲ **押してトレイを開けて CD を入れ**
▼
もう一度押して閉じる
(トレイを手で押して閉めない)
●この手順をくり返し、各トレイに CD を入れてください。

● CD はラベル面を上に、図のように正しく置く。
● CD トレイには、1 枚の CD を入れる。

12 cmCD　8 cmCD

PLAY MODE –REPEAT

停止中に
押して "1 DISC" または "ALL DISC" を選ぶ

押すたびに

1 DISC → **ALL DISC**
↑　↓
A DISC RANDOM ← 1 DISC RANDOM

■ 1 枚の CD を再生するとき (1 ディスクプレイ)

1 DISC

■すべての CD を連続再生するとき (オールディスクプレイ)

ALL DISC

"A-D" が表示されます。
例：4 枚目のトレイから始めた場合
4 → 5 → 1 → 2 → 3 の順に再生します。

CD ►/II

押す
CD の再生が始まります。

再生する CD を表示
(CD が入っていなくても点灯します)

CD► Disc 1
TRACK 1 — 曲番
0:03 —再生経過時間

■好みの CD を再生するには
(1 ディスクプレイになります)

本体

1► 2► 3► 4► 5► 押す

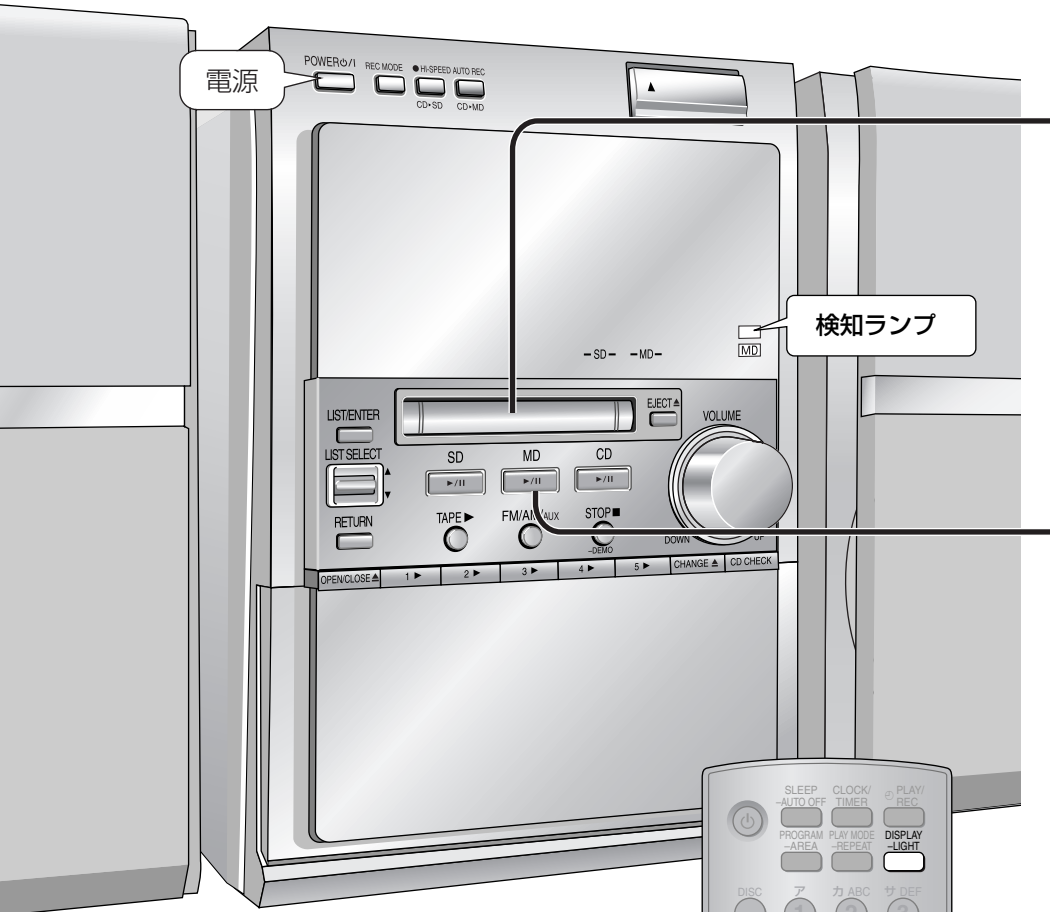
リモコン

DISC 押して ➡ **10 秒以内** 1 2 3 4 5 押す

CD Disc ?

本体		リモコン	
STOP■ –DEMO	押す	STOP ■	押す
CD ►/II	押す	CD ►/II	押す

(再開するには、もう一度押す)

LIST SELECT ▲▼ 上下に動かす　∨/REW ∧/FF 押す

	本体	リモコン
■早送り / 早戻しする (サーチ)	操作できません	再生中 (一時停止中) ∨/REW ∧/FF 聞きたい位置まで押したままにする
■ CD を取り出す	OPEN/CLOSE▲ 押す (閉めるには、もう一度押す)	操作できません

聞く　CDを聞く

MD を聞く

電源

検知ランプ

1 MD を入れる

2 再生する

音量を調節する

本体

小さく　VOLUME　大きく

回す

DOWN　UP

リモコン

小さく　VOL −　大きく　VOL +　押す

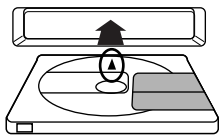
VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

■停止する ➡

■一時停止する ➡

■曲を飛ばす ➡
（スキップ）

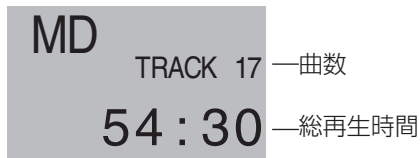
■グループを飛ばす ➡
（グループスキップ）

MD を入れる
（電源が入る）
MD を挿入すると検知ランプが点灯します。

MD モードになっているときは、
曲数・総再生時間が表示されます。

MD

▶/II

押す
再生が始まります。

MD▶
TRACK 1 ―再生中の曲番
0 : 03 ―再生経過時間
LP2 MD

MDLP のモード表示（右記）

●すでに MD が入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■ MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について
MDLP は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（SP/LP2/LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。
● 標準時間録音（ステレオ）した曲のとき：“SP”
● 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
● 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MDLP で長時間録音するには（☞ 33 ページ）

本体	リモコン
STOP■ –DEMO 押す	STOP 押す
MD ▶/II 押す	MD ▶/II 押す
（再開するには、もう一度押す）	
LIST SELECT ▲▼ 上下に動かす	∨/REW ∧/FF 押す
操作できません	ALBUM/GROUP 押す

	本体	リモコン
■早送り / 早戻しする（サーチ）	操作できません	再生中（一時停止中） ∨/REW ∧/FF 聞きたい位置まで押したままにする
■ MD を取り出す	EJECT▲ 押す	操作できません
■残り時間やタイトルなどを表示する	操作できません	DISPLAY –LIGHT 押す 押すたびに内容が切り換わります。

聞く

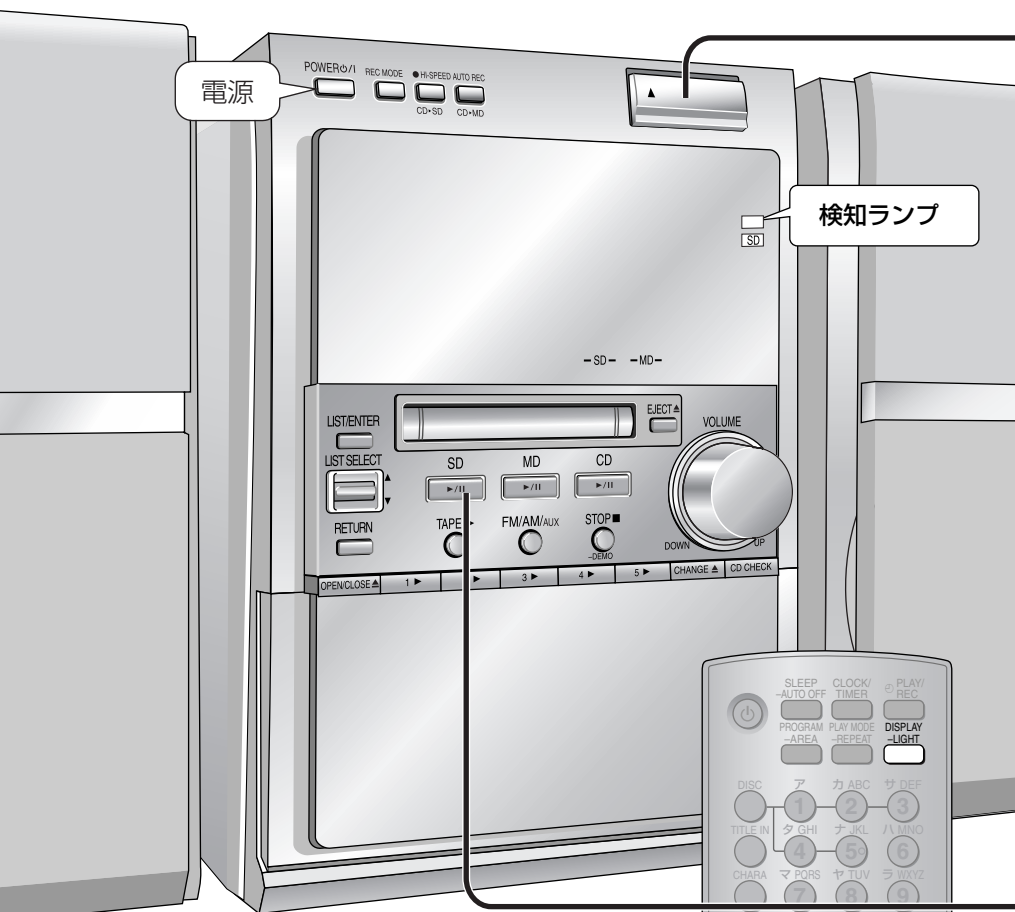
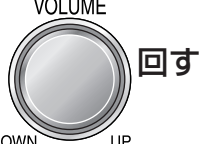
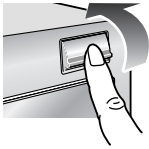
MDを聞く

SD を聞く

1
SD カード を入れる

2
再生する

検知ランプ

電源

■停止する ➡

■一時停止する ➡

■曲を飛ばす（スキップ） ➡

■ 再生できる SD カードについて

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。
他のデータフォーマットでは再生できません。

上手に使いこなすには、71 ページ「SD について」をお読みください。

① SD 挿入部のふたを開け

② SD カードを入れ

mini SD カードをお使いの場合

miniSD アダプターが必要です。

miniSDアダプター
miniSDカード

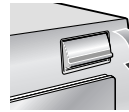
③ ふたをしっかりと閉める
（ふたが開いていると、再生できません）

SD モードになっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

SD
T. 17 ―曲数
54 : 30 ―総再生時間

取り出しかた

① ふたを開ける
② カードの中央部を押す

③ まっすぐ引き抜く

④ ふたをしっかりと閉める

お願い
●“CARD Writing” 表示中や検知ランプ点滅中は絶対にふたを開けたり、カードを取り出したりしないでください。カードが使えなくなることがあります。

押す
再生が始まります。

SD▶
AAC T. 17 ― 再生中の曲番
0 : 03 ― 再生経過時間

フォーマット表示
（☞ 左ページ）

録音モード表示（右記）

●すでに SD カードが入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■ 録音モードについて
再生時には、表示部に次のように表示されます。
●高音質モードで録音した曲のとき：“XP”
●標準モードで録音した曲のとき：“SP”
●長時間モードで録音した曲のとき：“LP”
本機以外の機器で録音された曲の場合、表示されないことがあります。

録音モードを選んで録音するには（☞35 ページ）

本体		リモコン	
STOP■ (−DEMO)	押す	STOP ■	押す
SD ▶/II	押す	SD ▶/II	押す
（再開するには、もう一度押す）			
LIST SELECT ▲▼	上下に動かす	V/REW ⏮ Λ/FF ⏭	押す

	本体	リモコン
■早送り / 早戻しする（サーチ）	➡ 操作できません	再生中（一時停止中） V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ 聞きたい位置まで押したままにする
■残り時間やタイトルなどを表示する	➡ 操作できません	DISPLAY −LIGHT 押す 押すたびに内容が切り換わります。

聞く

SDを聞く

CD/MD/SD のいろいろな聞きかた

準 備

① 電源を入れる。
② CD/MD/SD を入れる。
③ “CD”/“MD”/“SD” に切り換える。

● CD のとき

● MD のとき

● SD のとき

CD の好きな曲だけを選んで聞く

プログラムプレイ

CD

好みの数曲や 1 曲だけを選んで、好きな順に聞くことができます。
最大 24 曲まで予約できます。

1 PROGRAM –AREA 停止中に **押す**

PGM P: 0 0 0

MD の好きな曲だけを選んで聞く

プログラムプレイ

MD

好みの数曲や 1 曲だけを選んで、好きな順に聞くことができます。
最大 24 曲まで予約できます。

1 PROGRAM –AREA 停止中に **押す**

PGM P: 0 0 0
0:00

SD の好きな曲だけを選んで聞く

プログラムプレイ

SD

好みの数曲や 1 曲だけを選んで、好きな順に聞くことができます。
最大 24 曲まで予約できます。

1 停止中に **押す**

PGM P: 0 0 0
0:00

2

押して

10秒以内

押して好みのCDを選び

好きな曲番を押す

10以上の選びかた(右記参照)

3 CD ►/II 押す

予約順に再生が始まります。

●続けて予約するときは、手順**2**をくり返す。(最大24曲)

●曲番を選んでも合計再生時間は表示されません。

2

好きな曲番を押す

10以上の選びかた(右記参照)

3 MD ►/II 押す

予約順に再生が始まります。

●続けて予約するときは、手順**2**をくり返す。(最大24曲)

2

好きな曲番を押す

10以上の選びかた(右記参照)

3 SD ►/II 押す

予約順に再生が始まります。

●続けて予約するときは、手順**2**をくり返す。(最大24曲)

■停止する

➡ 再生中に STOP ■

(予約内容は保持)

■予約を取り消す

➡ 停止中に STOP ■

("PROGRAM CLEAR" が表示)

■予約内容を確認する

➡ 停止中に ∨/REW ◄◄ (戻る) ∧/FF ►►| (進む)

■予約を追加する

➡ 停止中に手順**2**を行う。

■通常の再生に戻す

➡ 停止中に PROGRAM –AREA

"PGM" を消す

(予約内容は保持)

プログラムプレイに戻るには手順**1**と**3**を行う。

曲番(10以上)の選びかた

■ 10以上のとき(例: 24)

≧10 → 2 → 4

■ 100以上のとき(例: 235)

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

お知らせ

●電源ON/OFFや音源を切り換えても予約内容は保持されます。

●ディスクまたはカードを取り出すと、予約内容は取り消されます。

●予約曲を選んで取り消すことはできません。

●プログラムプレイ中のサーチは、MDの場合、予約順に行われ、CD/SDの場合、再生中の曲の中だけで行われます。

準 備

① 電源を入れる。
② CD/MD/SD を入れる。
③ "CD"/"MD"/"SD" に切り換える。

● CD のとき

(CD を選ぶ場合)

● MD のとき

● SD のとき

SD ►/❚❚ ► STOP ■
くり返し聞く

リピートプレイ

CD MD SD

PLAY MODE –REPEAT 再生中に "REPEAT ON" が表示されるまで **押したままにする**

REP) TRACK 1
REPEAT ON

くり返し再生されます。

例：プログラムプレイ選択時

PGM)

リピートプレイを選んでいると表示されます。

順不同で聞く

ランダムプレイ

CD MD SD

1 ■ CD のとき

PLAY MODE –REPEAT 停止中に **押して "A DISC RANDOM"** (すべての CD) **または "1 DISC RANDOM"** (1 枚の CD) **を選ぶ**

1 ■ MD/SD のとき

PLAY MODE –REPEAT 停止中に **押して "RANDOM" を選ぶ**

好きな曲から聞く

ダイレクトプレイ

CD MD SD

1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 **好きな曲番を押す**

選んだ曲番から順に再生が始まります。

■ 好きな曲（1 曲～数曲）だけをくり返す
プログラムプレイの設定を行う
（☞ 16 ページ）

■ 順不同にくり返す
ランダムプレイの設定を行う
（下記参照）

■ 1 アルバムをくり返す（WMA/MP3 ディスクのみ）
1 アルバムプレイの設定を行う
（☞ 20 ページ）

■ 1 グループをくり返す（MD のみ）
1 グループプレイの設定を行う
（☞ 22 ページ）

再生中に
"REPEAT ON" が
表示されるまで
押したままにする
くり返し再生されます。

■解除する

PLAY MODE –REPEAT

"REPEAT OFF"
が表示されるまで
押したままにする。

● [■ STOP] を押し、停止させても解除されます。

お知らせ

● HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクをプレイリストに合わせて再生する（☞ 20 ページ）場合、リピートプレイはできません。

例： 1 枚の CD を再生するとき

1 DISC RANDOM

"RND" が表示されます。

押すたびに

A DISC RANDOM → 1 DISC → ALL DISC → 1 DISC RANDOM → A DISC RANDOM

2 CD ►/II 押す

順不同に再生
が始まります。

■解除する

停止中に PLAY MODE –REPEAT 数回押す

●**CD の場合**
"1 DISC" または "ALL DISC" を選ぶ。

●**MD/SD の場合**
"PLAY MODE OFF" を選ぶ。

お知らせ

●ランダムプレイ中は、再生済みの曲へスキップできません。
●サーチは、再生している曲の中のみです。

RANDOM

"RND" が表示されます。

押すたびに

RANDOM → PLAY MODE OFF → 1-GROUP（グループ編集している MD のみ）→ RANDOM

2

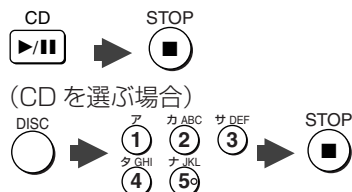
押す

順不同に再生
が始まります。

■ **10 以上のとき**（例： 24）

≧10 → 2 → 4

■ **100 以上のとき**（例： 235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

お知らせ

●プログラム/リピート/ランダム/1 グループプレイ設定中は、ダイレクトプレイできません。各設定を解除してください。

パソコンなどで CD-R/RW に記録した
WMA/MP3 を再生できます。

準 備

① 電源を入れる。
② CD を入れる。
③ "CD" に切り換える。

(CD を選ぶ場合)

WMA / MP3 をアルバム(フォルダ)ごとに聞く

1 アルバムプレイ

WMA/MP3(CD)

1 PLAY MODE –REPEAT 停止中に **押して "1 ALBUM" を選ぶ**

1 ALBUM

"ALB" が表示されます。

押すたびに

1 ALBUM → 1 DISC RANDOM → A DISC RANDOM → 1 DISC → ALL DISC → 1 ALBUM

HighMAT(ハイマット) で記録されたディスクを聞く

WMA/MP3(CD)

HighMAT について、詳しくは 69 ページをご参照ください。

1 **CD を入れたときに、下記の表示が出ないディスクでは、プレイリストでの再生はできません。**

HighMAT

停止中に **押す**

●ディスク選択画面が表示された場合は、もう一度

押す

ディスク選択画面

1.-- Disc 1 --
2.-- Disc 2 --
3.Hit chart
4.◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
5.◆ No Disc ◆

お知らせ

■ WMA/MP3(CD)について

●早送り/早戻し(サーチ)はできません。
●MD や SD に録音した場合、トラックタイトルは、WMA/MP3 のファイル名がコピーされます。
●最大アルバム数 400、トラック数 999 まで再生できます。階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。

■漢字やひらがなの表示について

**漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、<u>本機では空白</u>となります。
フォルダやファイル、プレイリストやメニューにパソコン等で名前を付ける場合、本機で表示できるようにカタカナ・アルファベット・数字・記号で入力してください。**

本機で再生できる CD-R/RW をつくるには

● WMA / MP3 ファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。
●使用できるフォーマット： ISO9660 level 1 および、level 2
●再生したい順番を指定するには、右記のように名前を付けます。(ただし、順番通りに再生しないことがあります)
●パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれ、アルバム名・トラック名として扱います。

2 ALBUM/GROUP 押して アルバムを選ぶ

3 CD ▶/II 押す

再生が始まります。

■解除する

PLAY MODE –REPEAT 停止中に数回押す

“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ。

■アルバムを飛ばす
（アルバムスキップ）

ALBUM/GROUP

2 押して 再生方法を選ぶ

HighMAT Menu ：
メニューからプレイリストを探す

All Playlist ：
プレイリストだけを順番に探す

WMA / MP3 ：
通常の WMA / MP3 として再生

LIST/ENTER 押す

● WMA/MP3 を選んだ場合は、「リスト表示で曲を探して聞く」（☞ 22 ページ手順 2 へ）

3 押して メニューまたは プレイリストを選ぶ

LIST/ENTER 押す

● 必要に応じて、手順 3 をくり返してプレイリストを選ぶ
選んだプレイリストの内容で再生します。

例 :“HighMAT Menu” からプレイリストを選んだ場合

プレイリストを表しています

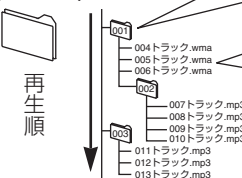
■途中で止める

STOP

■グループを選ぶ

再生中に ALBUM/GROUP

■ 1 つ前の表示に戻る

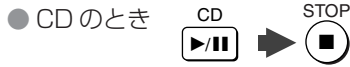
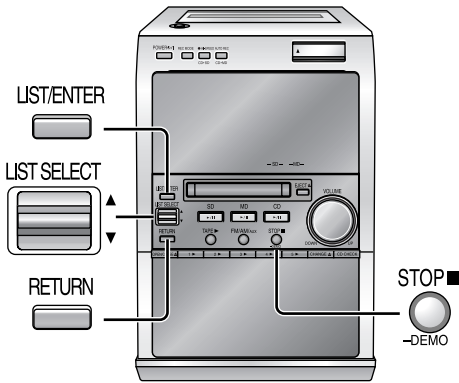
停止中に RETURN

お知らせ

●本体でも左記の操作を行うことができます。
- [LIST SELECT] で選ぶ（上下に動かす）
- [LIST/ENTER] で決定（押す）

プレイリストの概念図

グループ概念図

● **HighMAT で記録されたディスクをつくるには**
Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。

作成方法は、下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

CD/MD/SD のいろいろな聞きかた (つづき)

準 備

① 電源を入れる。
② CD / MD/SD を入れる。
③ "CD"/ "MD"/ "SD" に切り換える。

● CD のとき

(CD を選ぶ場合)

● MD のとき

● SD のとき

グループごとに聞く

1 グループプレイ

MD

あらかじめ曲をグループにまとめてください。
(☞ 44 ページ)

1 PLAY MODE –REPEAT

停止中に
押して "1-GROUP" を選ぶ

1–GROUP

"GRP" が表示されます。

押すたびに
1-GROUP → RANDOM
↑
PLAY MODE OFF ←

リスト表示で曲を探して聞く

タイトルマネージャー

CD **MD** **SD**

CD や WMA / MP3、HighMAT、MD、SD のタイトルをリストで探して再生します。
CD では、トレイごとにディスクタイトルも表示されるので便利です。

CD のタイトル入力
(☞ 54 ページ)
MD/SD のタイトル入力
(☞ 50-54 ページ)

1 停止中に
押してリストを表示させる

本体	リモコン
LIST/ENTER 押す	LIST/ ENTER 押す

■ CD のとき

CD 選択画面

タイトルの入っていない CD

CD が入っていないと表示　CD の情報が認識されていないと表示

■ MD/SD のとき

例：グループがある MD
グループ選択画面

グループ数

GROUP 1
1. Group 1

2

押して
グループを選び

3 押す

再生が始まります。

■途中で止める

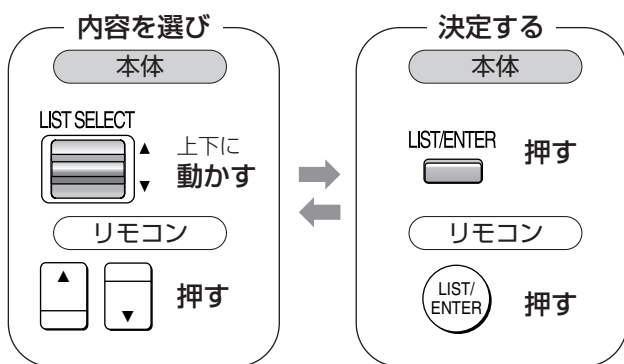
STOP

■解除する

 停止中に数回押す

“PLAY MODE OFF” を選ぶ。

■グループを飛ばす
（グループスキップ）

2 聞きたい CD やアルバム、グループ、プレイリスト、曲を探して再生する（必要に応じて、下記操作をくり返す）

■停止中に 1 つ前の表示に戻る

■途中で止める

または

トラック（曲）を選ぶ

Track 16
1. Winter
2. Summer
3. Track 3
4. Track 4

選んだ曲から再生が始まります。

■MD/SD のとき
グループ（MD）/プレイリスト（SD）を選ぶ
（グループやプレイリストがある場合）

全てのトラックタイトルの中から曲を選ぶ場合は“Track List”を選ぶ

お知らせ

- 再生中やプログラム/ランダム/1 アルバム/1 グループプレイ設定中は、リストを表示させることができません。各設定を解除して、停止中に行ってください。
- 漢字・ひらがなは、表示されません。（☞20 ページ「漢字やひらがなの表示について」）
- 表示される文字数は 1 タイトルにつき最大 32 文字です。

テープを聞く

再生できるテープ

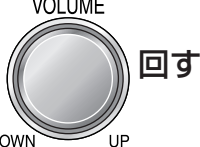
ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ ※	○
メタルポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ ※	○

※ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが再生することはできます。

準　備

電源

1 テープを入れる

2 再生する

■停止する

■早送り/巻戻しする

■テープを取り出す

上手に使いこなすには、68ページ「テープについて」をお読みください。

テープのたるみを取る。

OPEN ▲

押してホルダーを開け
（電源が入る）
テープを入れる
▼
手でホルダーを閉める

●おもて面が再生されます。

TAPE ▶

押す
再生が始まり、おもて面の終端で自動停止します。

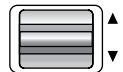
TAPE▶
▷▶▷▷▷

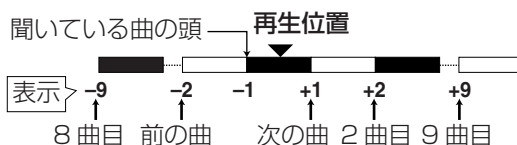
テープを挿入すると点灯します。

●すでにテープが入っているときは、自動的に電源が入り、おもて面の再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

●うら面を再生する場合は、テープを取り出してうら返してください。

本体	リモコン
STOP■ 押す	STOP (■) 押す
（停止中）LIST SELECT 上下に動かす	（停止中）∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ 押す
OPEN▲ 押す	操作できません

■曲を前後に飛ばす
（Tape Program Sensor-TPS機能）
（テープ プログラム センサー）

本体	リモコン
（再生中）LIST SELECT 上下に動かす	（再生中）∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ 押す

（次曲方向９曲、前曲方向８曲までとび越し可能）

TPS機能は、曲間の約４秒間の無音部を検出して働くため以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
●曲間が短い
●曲間に雑音がある
●曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

(お知らせ)

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナを必ず接続してください。(☞ 6、7 ページ)
接続しないと放送を受信できません。

FM/AM/AUX

押して “FM” または “AM” を選ぶ (電源が入る)

FM
76.0 MHz

押すたびに
FM → AM → AUX

テレビ(1 ch ~ 3 ch)の場合は “FM” を選んでおきます。

PLAY MODE –REPEAT

押して “MANUAL” を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

∨/REW ∧/FF

押して 周波数を合わせる

テレビの受信位置は

FM 76.0 MHz ←--------→ FM 90.0 MHz
TV 3 ch ⟷ TV 2 ch ⟷ TV 1 ch

FM
TUNED STEREO—FM ステレオ放送を受信すると表示
88.1 MHz—周波数

➡ ∨/REW ① 周波数が動き始めるまで **押したままにして**
∧/FF ② 動き始めたら **指を離す**

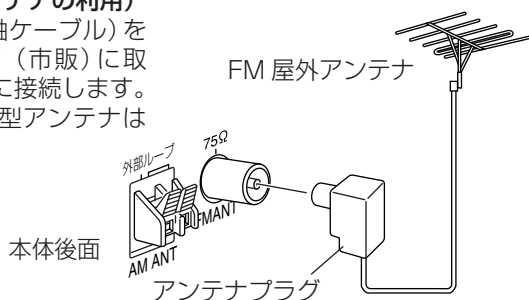
放送を受信すると止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

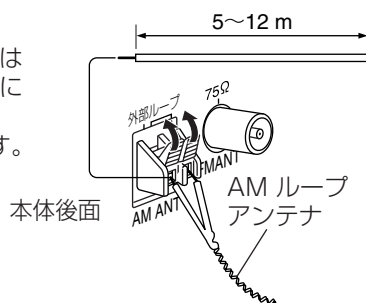
➡ PLAY MODE –REPEAT “MONO” と表示するまで **押したままにする**

押すたびに
MONO ⇄ STEREO
(通常は “STEREO” にします)

■ FM/AM 放送がうまく受信できない場合

屋外アンテナを使うのも一つの方法です。
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM (テレビアンテナの利用)
アンテナ線(同軸ケーブル)をアンテナプラグ(市販)に取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM (市販のコードの利用)
付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

5~12 m
外部ループ
75Ω
FM ANT
本体後面
AM ANT
AM ループアンテナ

聞く
ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、
簡単な操作で聞くことができます。
(FM／AM 各 15 局まで)

準　備

FM/AM/AUX **押して**
“FM” または “AM” を選ぶ

エリアバンク一覧表(2004 年 12 月現在)

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏
5	山形		(大阪、神戸、京都)
6	仙台	25	鳥取
7	福島	26	松江
8	宇都宮	27	広島
9	水戸	28	山口
10	前橋	29	高松／岡山
11	東京圏	30	徳島
	(東京、横浜、	31	松山
	千葉、さいたま)	32	高知
12	甲府	33	福岡
13	松本	34	北九州
14	静岡	35	佐賀
15	名古屋圏	36	長崎
	(名古屋、岐阜)	37	大分
16	津	38	熊本
17	新潟	39	宮崎
18	富山	40	鹿児島
19	金沢	41	那覇
20	福井		

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を設定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1

PROGRAM -AREA

ラジオ受信中に“AREA”が表示されるまで
押す

AREA 11
トウキョウケン

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

エリア番号で記憶させたチャンネルに上書きすることもできます。

1

PLAY MODE -REPEAT

ラジオ受信中に
押して
“MANUAL” を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1

PLAY MODE -REPEAT

ラジオ受信中に
押して
“PRESET” を選ぶ

PRESET

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

2

∨/REW ∧/FF 押して、エリア番号を選び
（☞ 左ページ「エリアバンク一覧表」）

エリア番号

AREA 11
トウキョウケン

3

押す

放送局が各チャンネルに記憶されます。

■途中で解除する

お知らせ

●数字ボタンでエリア番号を選ぶこともできます。

10以上の選びかた（例：12）

2

∨/REW ∧/FF 押して
周波数を合わせる

3

PROGRAM
–AREA
押す

■途中で解除する

STOP

PGM –

10 秒以内

押して
チャンネルを選ぶ

■ 10以上の選びかた（例： 12）

→ 1 → 2

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。

続けて記憶させるには手順 2-3 をくり返す

2

∨/REW ∧/FF 押して
チャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。

チャンネル

FM 1
Inter FM
76.1 MHz

お知らせ

●数字ボタンでチャンネルを選ぶこともできます。

10以上の選びかた（例： 12）

≧10 → 1 → 2

●エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名と周波数が表示されます。

こんな録音ができます

		MDに録音	
		通常録音	高速録音
CDから	全てのCDをイッキに録る（5CDイッキ録り）	×	○※ 40ページ
	すべてのCDを録る	○ 32ページ	○※ 32ページ
	1枚のCDを録る	○ 32ページ	○※ 32ページ
	好きな曲だけを選んで録る（プログラム録音）	○ 42ページ	×
MDから	MDから録る	――	――
	好きな曲だけを選んで録る（プログラム録音）	――	――
SDから	SDから録る	○ 38ページ	×
	好きな曲だけを選んで録る（プログラム録音）	○ 42ページ	×
テープから	テープから録る	○ 38ページ	×
ラジオから	ラジオから録る	○ 38ページ	×
AUXから（外部機器）	ポータブルMD/テレビなどから録る	○ 60ページ	×

※高速録音できるのは音楽CD（CD-DA）のみです。

● CD → MD、CD → SD 以外の録音はアナログ録音になります。

高速録音について

CD から MD へ最大 7 倍速（CD-RW は 2 倍速）で録音します。CD から SD へ最大 4 倍速（CD-RW は 2 倍速）で録音します。74 分の CD の場合、MD へ約 12 分半/SD へ約 19 分で録音が完了します。ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常の録音を行ってください。

高速録音の制限について

本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。

録音終了から約 74 分経過しないと、同じ CD を高速録音できません。

●録音を途中で止めたときでも、続けて同じ CD は高速録音できません。（通常の録音はできます。）

一度に 24 枚まで録音できます。

●約 74 分以内にそれぞれ異なる 24 枚の CD は高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。

さらに高速録音しようとして “PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたときは、○○分待ってから高速録音してください。

SDに録音		テープに録音	
通常録音	高速録音	通常録音	高速録音
×	○※ 40ページ	×	×
○ 34ページ	○※ 34ページ	○ 36ページ	×
○ 34ページ	○※ 34ページ	○ 36ページ	×
○ 42ページ	×	○ 42ページ	×
○ 38ページ	×	○ 40ページ	×
○ 42ページ	×	○ 42ページ	×
――	――	○ 40ページ	×
――	――	○ 42ページ	×
○ 38ページ	×	――	――
○ 38ページ	×	○ 40ページ	×
○ 60ページ	×	○ 60ページ	×

CD から SD カードへの高速録音時のお願い

高速録音するときは、当社製 SD カード（10 MB/秒以上の転送速度：SUPER HIGH SPEED/PRO HIGH SPEED タイプ）をご使用になることをおすすめします。

- 推奨以外のカードでは最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。
  詳しくは、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/audio/mini/
- 通常録音するときは、推奨以外の SD カードでもご使用になれます。

お知らせ

- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。（CD の内周と外周では速度に差異が生じるため。）
- 高速録音時に音声は聞こえません。

お願い

SD カードを保護するために

- SD カードへの録音中に SD 挿入部のふたを開けないでください。ふたを開けると、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。

CD、MD からの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは

- カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。
- CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常録音はできます。

ラジオからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは

- 録音が停止します。

CDをMDに録る（通常/高速録音）

準　備

1 CD を入れる

2 録音モードを選ぶ（SP/LP2/LP4）

3 録音方法を選ぶ（1 枚またはすべて）

4 通常/高速で録音する

電源

■停止する

■MDの残り時間を確認する

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

SP/LP2/LP4 モード

SP　：通常ステレオ録音モード
LP2 ：ステレオ長時間（2 倍）録音モード
LP4 ：ステレオ長時間（4 倍）録音モード

録音モードと録音可能時間

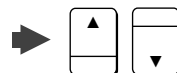
ディスクの種類＼録音モード	SP	LP2	LP4
74 分の MD ディスク	74 分	148 分	296 分
80 分の MD ディスク	80 分	160 分	320 分

- 本機で LP2 または LP4 モードで録音した曲は、MDLP に対応していない機器では再生できません。
- LP4 モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
音質を重視する録音を行うときは、SP モードまたは LP2 モードをおすすめします。
- カーオーディオが MDLP に対応していないときは SP モードで録音してください。

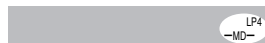
MD を上手に使いこなすには、70 ページ「MD について」をお読みください。
録音用 MD を入れる。(☞13 ページ)
(“MD” を選んでいるとき、何も録音されていない MD を入れると、“BLANK DISC” と表示されます。)

好みのトレイを選んで押す (電源が入る)

押してトレイを開けて CD を入れる (閉めるには、もう 1 度押す。)

押して

10 秒以内

① **“MD REC MODE” を選んで決定**
② **SP/LP2/LP4 モード を選んで決定**

リモコン **10 秒以内**

選んで 決定

(☞ 左ページ「 MD**LP** について」)

停止中に
押して “1 DISC” または “ALL DISC” を選ぶ

押すたびに
1 DISC → **ALL DISC**
↑ ↓
A DISC RANDOM※ ← 1 DISC RANDOM※
※ランダム録音はできません。

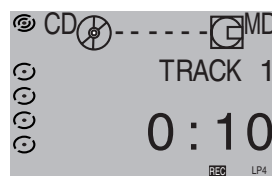
■ 1 枚の CD を録音するとき
(1 ディスク録音)

1 DISC

■複数の CD を連続録音するとき
(オールディスク録音)

ALL DISC

“A–D” が表示されます。

通常録音の場合

[●/II REC] を押しながら [MD] を押す

高速録音の場合

[●/II REC] を押しながら 2 秒以上 [MD] を押す

●選んだ CD の 1 曲目から録音が始まります。
(CD の再生が終わると、MD も自動停止)
●高速録音については、30 ページをご参照ください。

点灯

お願い
● **“PLEASE WAIT ○○ MIN.” (○○は数字) が表示されたときは** (☞ 30 ページ)
○○分 (○○は数字) 待ってから高速録音するか、通常の録音を行ってください。

押す

UTOC Writing
(点滅後完了)

お知らせ
●WMA / MP3 は自動的にアナログ録音になります。
●WMA / MP3 は高速録音できません。
●録音中は一時停止できません。

数回押す

SP/LP2/LP4 の各モードによって残り時間も変わります。

CDをSD に録る（通常 / 高速録音）

録音モードについて

録音モードによって、録音時間と音質が異なります。

XP/SP/LP モード

XP ：高音質モード
SP ：標準モード
LP ：長時間モード

録音モードと録音可能時間

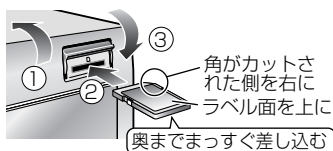
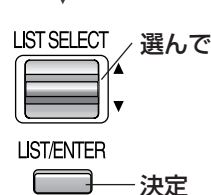
録音モード / カード容量	XP : 128kbps（高音質）	SP : 96kbps（標準）	LP : 64kbps（長時間）
32 MB	約 31 分	約 41 分	約 62 分
64 MB	約 64 分	約 85 分	約 128 分
128 MB	約 130 分	約 173 分	約 260 分
256 MB	約 259 分	約 346 分	約 519 分
512 MB	約 523 分	約 698 分	約 1047 分
1 GB	約 1007 分	約 1343 分	約 2014 分

■ 利用可能な SD カード

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
詳細は http://panasonic.jp/support/audio/mini/ を確認してください。

■停止する ➡

■SD の残り時間を確認する ➡

SDを上手に使いこなすには、71ページ「SDについて」をお読みください。

① ふたを開け
② SDカードを入れ
③ ふたをしっかりと閉める
（ふたが開いていると、録音できません。）

お願い
- 録音中は絶対に**SD挿入部のふたを開けない**でください。録音が停止し、正常に録音できません。
- 録音が終わっても、"CARD Writing"表示中や検知ランプの点滅中は、絶対にSD挿入部のふたを開けたり、カードを取り出したりしないでください。カードが使えなくなることがあります。
- miniSDカードをお使いの場合、miniSDアダプターが必要です。(☞15ページ)

1▶ ・・・ 5▶

好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

押してトレイを開けてCDを入れる（閉めるには、もう1度押す。）

押して

10秒以内

① **"SD REC MODE"を選んで決定**
② **XP/SP/LPモードを選んで決定**

リモコン　10秒以内

選んで　決定

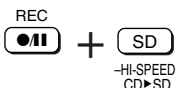
（☞左ページ「録音モードについて」）

LP SD

PLAY MODE -REPEAT

停止中に
押して"1 DISC"または"ALL DISC"を選ぶ

押すたびに
1 DISC → **ALL DISC**
↑ ↓
A DISC RANDOM※ ← 1 DISC RANDOM※
※ランダム録音はできません。

■1枚のCDを録音するとき
（1ディスク録音）

1 DISC

■複数のCDを連続録音するとき
（オールディスク録音）

ALL DISC

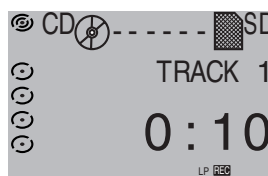
"A–D"が表示されます。

通常録音の場合

[●/❚❚ REC]を押しながら[SD]を押す

高速録音の場合

[●/❚❚ REC]を押しながら2秒以上[SD]を押す

- 選んだCDの1曲目から録音が始まります。
- 高速録音については、30ページをご参照ください。

お願い
- **"PLEASE WAIT ○○ MIN."（○○は数字）が表示されたときは**（☞30ページ）
  ○○分（○○は数字）待ってから高速録音するか、通常の録音を行ってください。

STOP (■)　押す

CARD Writing
（点滅後完了）

DISPLAY -LIGHT　数回押す　XP/SP/LPの各モードによって残り時間も変わります。

お知らせ
- WMA/MP3は自動的にアナログ録音になります。
- WMA/MP3は高速録音できません。
- 本機でSDに録音した場合は、AACで記録されます。
- 録音中は一時停止できません。

CD をテープに録る

録音できるテープ

NORMAL POSITION／TYPE Ⅰ（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION／TYPE Ⅱ（ハイ ポジション）	×
METAL POSITION／TYPE Ⅳ（メタル ポジション）	×

●ハイポジションテープまたはメタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

準　備

1
CD を入れる

2
録音方法を選ぶ
（1 枚またはすべて）

3
録音する

■停止する ➡

テープを上手に使いこなすには、68 ページ「テープについて」をお読みください。

リーダーテープ部を巻きとる

録音できる

録音できない（リーダーテープ部）

録音用テープを入れる

おもて面（録音される面）

ガイドに沿って入れる

1 ▶ ・・・ 5 ▶

好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

OPEN/CLOSE ▲

押してトレイを開けて CD を入れる（閉めるには、もう 1 度押す。）

PLAY MODE –REPEAT

停止中に

押して “1 DISC” または “ALL DISC” を選ぶ

押すたびに

1 DISC → **ALL DISC**

↑ ↓

A DISC RANDOM※ ← 1 DISC RANDOM※

※ランダム録音はできません。

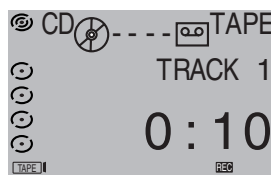
■ 1 枚の CD を録音するとき（1 ディスク録音）

1 DISC

■複数の CD を連続録音するとき（オールディスク録音）

ALL DISC

“A–D” が表示されます。

REC ●/❚❚ ＋ TAPE

[●/❚❚ REC] を押しながら [TAPE] を押す

選んだ CD の 1 曲目から録音が始まります。（CD の再生が終わった場合やテープおもて面の終端まで録音すると、自動停止します）

点灯

STOP ■ 押す

■うら面に続けて録音する

テープをうら返してから、[⏮∨/REW、⏭∧/FF]で録音が途切れた曲(CD)の頭出しをし、[●/❚❚ REC] を押しながら [TAPE] を押す。曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。

お知らせ

●録音中は一時停止できません。

録る

CDをテープに録る

MD に録る/ SD に録る

準 備

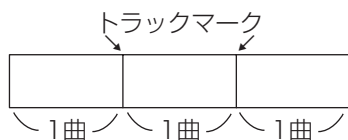
①電源を入れる。
②MD/SD/テープを入れる。

- MD に録音時
  SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。
  （☞ 33 ページ）
- SD に録音時
  XP/SP/LP モードを選ぶ。
  （☞ 35 ページ）

■停止する ➡ STOP

■ MD/SD の残り時間を確認する ➡ DISPLAY -LIGHT 数回押す

MD/SD にトラックマーク（曲の区切り）を付けるには

テープやラジオからの録音時に付きます。

EDIT MODE 録音中に
好みの位置で押す

“TR MARKING” と表示され、その時点にトラックマークが付きます。
SD では曲と曲をつなげてトラックマークを消すことはできません。

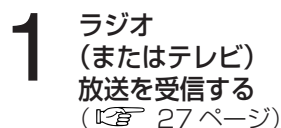
SD/テープ/ラジオを MD に録る

SD を MD に録る
SD → MD

1 SD ▶/❚❚ ➡ STOP ■
“SD” を選ぶ

テープを MD に録る
テープ → MD

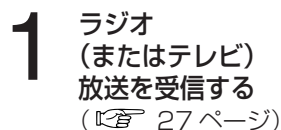
1 TAPE ▶ ➡ STOP ■
“TAPE” を選ぶ

ラジオを MD に録る
ラジオ→ MD

1 ラジオ
（またはテレビ）
放送を受信する
（☞ 27 ページ）

MD/テープ/ラジオを SD に録る

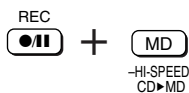
MD を SD に録る
MD → SD

1 MD ▶/❚❚ ➡ STOP ■
“MD” を選ぶ

テープを SD に録る
テープ→ SD

1 TAPE ▶ ➡ STOP ■
“TAPE” を選ぶ

ラジオを SD に録る
ラジオ→ SD

1 ラジオ
（またはテレビ）
放送を受信する
（☞ 27 ページ）

2

REC [●/II] + [MD] –HI-SPEED CD▶MD

[●/II REC] を押しながら [MD] を押す

録音が始まります。

2

EDIT MODE **押して 録音タイプを選ぶ**

MANUAL

押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）

↑↓

TIME MARK（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）

3

REC [●/II] + [MD] –HI-SPEED CD▶MD

[●/II REC] を押しながら [MD] を押す

録音が始まります。

2

EDIT MODE **押して 録音タイプを選ぶ**

MANUAL

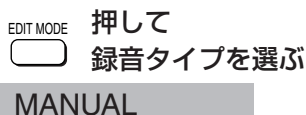
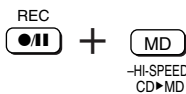
押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）

↑↓

TIME MARK（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）

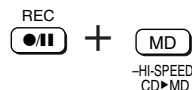
3

REC [●/II] + [MD] –HI-SPEED CD▶MD

[●/II REC] を押しながら [MD] を押す

録音が始まります。

■一時停止する

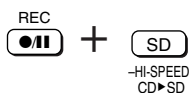
（テープ/ラジオからの録音時のみ）

REC [●/II] + [MD] –HI-SPEED CD▶MD

[●/II REC] を押しながら [MD] を押す（“REC” 点滅）

MD は一時停止し、再生側は再生を続けます。MD にトラックマークが付きます。

（再開するには、もう一度押す）

お知らせ

- ランダムモードでは録音できません。ランダムモードを解除してください。（☞ 18 ページ）
- SD から録音した場合、トラックタイトルもコピーされます。
- テープを録音する場合、おもて面の終端で自動停止します。続けて録音する場合はテープをうら返し、手順 **3** を行ってください。

2

REC [●/II] + [SD] –HI-SPEED CD▶SD

[●/II REC] を押しながら [SD] を押す

録音が始まります。

2

EDIT MODE **押して 録音タイプを選ぶ**

MANUAL

押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）

↑↓

TIME MARK（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）

3

REC [●/II] + [SD] –HI-SPEED CD▶SD

[●/II REC] を押しながら [SD] を押す

録音が始まります。

2

EDIT MODE **押して 録音タイプを選ぶ**

MANUAL

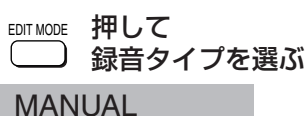
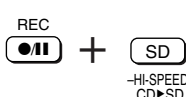
押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）

↑↓

TIME MARK（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）

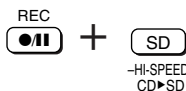
3

REC [●/II] + [SD] –HI-SPEED CD▶SD

[●/II REC] を押しながら [SD] を押す

録音が始まります。

■一時停止する

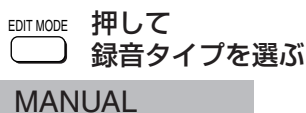
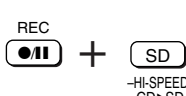
（テープ/ラジオからの録音時のみ）

REC [●/II] + [SD] –HI-SPEED CD▶SD

[●/II REC] を押しながら [SD] を押す（“REC” 点滅）

SD は一時停止し、再生側は再生を続けます。SD にトラックマークが付きます。

（再開するには、もう一度押す）

お知らせ

- ランダムモードでは録音できません。ランダムモードを解除してください。（☞ 18 ページ）
- MD から録音した場合、トラックタイトルもコピーされます。（99 曲分のみ）
- テープを録音する場合、おもて面の終端で自動停止します。続けて録音する場合はテープをうら返し、手順 **3** を行ってください。

テープに録る/5CD イッキ録り

準 備

MD/SD/ラジオをテープに録る：
①電源を入れる。
②MD/SD/テープを入れる。

5CD イッキ録り：
①電源を入れる。
②CD/MD/SD を入れる。
- MD に録音時
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。
（☞ 33 ページ）
- SD に録音時
XP/SP/LP モードを選ぶ。
（☞ 35 ページ）

③“CD” に切り換える。

MD/SD/ラジオをテープに録る

MD をテープに録る

MD →テープ

1 MD ▶/❚❚ ➡ STOP ■
“MD” を選ぶ

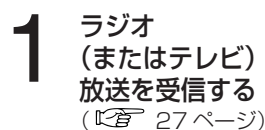
SD をテープに録る

SD →テープ

1 SD ▶/❚❚ ➡ STOP ■
“SD” を選ぶ

ラジオをテープに録る

ラジオ→テープ

1 ラジオ
（またはテレビ）
放送を受信する
（☞ 27 ページ）

5CD イッキ録り（高速録音のみ）

CD → MD

CD → SD

ワンタッチですべての CD を 1 番目のトレイから順に、MD や SD へ高速録音します。

高速録音について詳しくは 30 ページを参照してください。

■ MD へ録る

● HI-SPEED AUTO REC
CD▸SD　CD▸MD

停止中に
押す

“CD ▷ MD HI-SPEED AUTO REC” が表示されます。

■ SD へ録る

● HI-SPEED AUTO REC
CD▸SD　CD▸SD

停止中に
押す

“CD ▷ SD HI-SPEED AUTO REC” が表示されます。

2

REC (●/II) ＋ (TAPE)

**[●/II REC] を押しながら
[TAPE] を押す**

録音が始まります。

2

REC (●/II) ＋ (TAPE)

**[●/II REC] を押しながら
[TAPE] を押す**

録音が始まります。

2

REC (●/II) ＋ (TAPE)

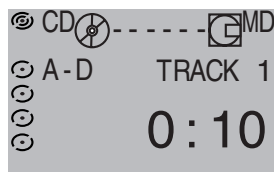
**[●/II REC] を押しながら
[TAPE] を押す**

録音が始まります。

■停止する

STOP

■一時停止する（ラジオからの録音時のみ）

REC (●/II) ＋ (TAPE)

[●/II REC] を押しながら
[TAPE] を押す（“REC” 点滅）

テープは一時停止し、再生側は再生を続けます。
（再開するには、もう一度押す）

（お知らせ）

- テープおもて面への録音が終わると、テープは自動停止します。続けて録音する場合は、テープをうら返してから、[⏮∨/REW、⏭∧/FF]で頭出しをし、手順 **2** を行ってください。
- ランダムモードでは録音できません。ランダムモードを解除してください。（☞ 18 ページ）

例： CD → MD

すべての CD の情報を確認後、
録音が始まります。

- 途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約 6 秒間表示されます。

（例）“DISC 5 TRACK 10　マデロクオンカノウ”
これは 5 枚目の CD の 10 曲目まで録音できることを表しています。
表示中に、[■ STOP] を押すとイッキ録りを解除できます。SP/LP2/LP4 モード（MD）または XP/SP/LP モード（SD）を選び直すことで全曲録音できる場合があります。

- **“REC RETRY” と表示したら**
  ディスク情報をうまく読みとれなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示された場合は○○分（○○は数字）経過してからイッキ録りしてください。（☞ 30 ページ）

■停止する

STOP

■MD/SD の残り
時間を確認する

DISPLAY
–LIGHT

数回押す

（お知らせ）

- イッキ録り時はプレイモード（プログラム/ランダム）は解除されます。
- CD タイトルメモリー（☞ 54 ページ）で本機にタイトルを記憶させた CD を録音すると、MD や SD にタイトル情報もコピーされます。
- CD ごとに 1 つのグループ（MD）またはプレイリスト（SD）として録音されます。（MD の録音モードが “SP” の場合や UTOC エリアに空きがないときはグループになりません。）

好きな曲だけを選んで録る

準 備

①電源を入れる。
②CD/MD/SD/テープを入れる。
●MD に録音時
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。
(☞ 33 ページ)
●SD に録音時
XP/SP/LP モードを選ぶ。
(☞ 35 ページ)

■停止する ➡ 録音中に
(予約内容は保持)

■予約を取り消す ➡ 停止中に
("PROGRAM CLEAR" が表示)

■予約内容を確認する ➡ 停止中に
(戻る) (進む)

■ MD/SD の残り時間を確認する ➡ 数回押す

お知らせ

●電源 ON/OFF や音源を切り換えても予約内容は保持されます。
●ディスクやカードを取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。
●テープへの録音は片面ずつになります。テープ片面に収まるようにプログラム予約してください。

CD の好きな曲だけを選んで MD/SD/テープに録る

プログラム録音

CD → MD
CD → SD
CD →テープ

1 CD ▶/II ➡ STOP (■) ①"CD" を選び
PROGRAM –AREA ②停止中に押す

PGM P:00 0

MD の好きな曲だけを選んで SD/テープに録る

プログラム録音

MD → SD
MD →テープ

1 MD ▶/II ➡ STOP (■) ①"MD" を選び
PROGRAM –AREA ②停止中に押す

PGM P:00 0
0:00

SD の好きな曲だけを選んで MD/テープに録る

プログラム録音

SD → MD
SD →テープ

1 SD ▶/II ➡ STOP (■) ①"SD" を選び
PROGRAM –AREA ②停止中に押す

PGM P:00 0
0:00

2 DISC

① 録音するCDを選び

10秒以内

1 2 3 4 5

② 曲番を選んで予約する

■ 10以上のとき（例：24）

≧10 → 2 → 4

■ 100以上のとき（例：235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

●続けて予約するときは、手順2をくり返す。（最大24曲）
●曲番を選んでも合計録音時間は表示されません。

CD Disc 1 ― 選んでいるCD
PGM P: 02 5
― 予約順
― 予約した曲

3

■ MDへ録る

REC ●/❚❚ ＋ MD (–HI-SPEED CD▶MD)

[●/❚❚ REC]を押しながら[MD]を押す

録音が始まります。

■ SDへ録る

REC ●/❚❚ ＋ SD (–HI-SPEED CD▶SD)

[●/❚❚ REC]を押しながら[SD]を押す

録音が始まります。

■テープへ録る

REC ●/❚❚ ＋ TAPE

[●/❚❚ REC]を押しながら[TAPE]を押す

録音が始まります。

2

曲番を選んで予約する

■ 10以上のとき（例：24）

≧10 → 2 → 4

■ 100以上のとき（例：235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

●続けて予約するときは、手順2をくり返す。（最大24曲）
●曲番を選んでも合計録音時間は表示されません。

3

■ SDへ録る

REC ●/❚❚ ＋ SD (–HI-SPEED CD▶SD)

[●/❚❚ REC]を押しながら[SD]を押す

録音が始まります。

■テープへ録る

REC ●/❚❚ ＋ TAPE

[●/❚❚ REC]を押しながら[TAPE]を押す

録音が始まります。

2

曲番を選んで予約する

■ 10以上のとき（例：24）

≧10 → 2 → 4

■ 100以上のとき（例：235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

●続けて予約するときは、手順2をくり返す。（最大24曲）
●曲番を選んでも合計録音時間は表示されません。

3

■ MDへ録る

REC ●/❚❚ ＋ MD (–HI-SPEED CD▶MD)

[●/❚❚ REC]を押しながら[MD]を押す

録音が始まります。

■テープへ録る

REC ●/❚❚ ＋ TAPE

[●/❚❚ REC]を押しながら[TAPE]を押す

録音が始まります。

MD/SD を編集する

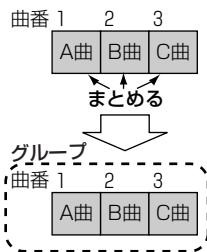
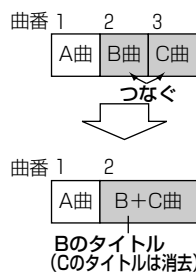
●曲順を入れ換えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD や SD が作れます。
●グループ/プレイリスト編集を行った MD や SD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ/プレイリスト情報も自動的に更新されます。

準 備

① 電源を入れる。
② 編集したい MD を入れる。
③ “MD” に切り換える。

編集モード

演奏状態（再生・停止）または MD/SD により表示される編集モードは異なります。

	モード	内容
	TRACK ERASE?	数曲を消す
	ALL ERASE?	全曲を消す
	MOVE?	曲を移動する
MDのみ	COMBINE?	曲をつなぐ
MDのみ	DIVIDE?	曲を分ける
MDのみ	TITLE STATION?	タイトルステーション
MDのみ	GROUP EDIT?	曲をまとめる
SDのみ	CARD FORMAT?	カードを初期化する
SDのみ	PLAYLIST?	プレイリストを編集する

曲をまとめる

グループ

例：
曲番 1 から 3 までを
ひとつのグループにする

MD

1 ①

停止中に**押して**
“GROUP EDIT?” を選び
（左記「編集モード」）

▼ GROUP EDIT?

LIST/ENTER **押す**

GROUP SET?

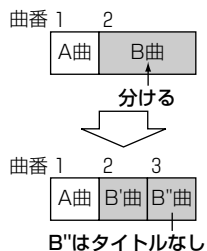
②

押す

曲をつなぐ

コンバイン

MD

1 EDIT MODE 停止中に**押して**
“COMBINE?” を選び
（左記「編集モード」）

▼ COMBINE?

LIST/ENTER **押す**

曲を分ける

ディバイド

MD

1 EDIT MODE 分ける曲の再生中に
押して
“DIVIDE?” を選び
（左記「編集モード」）

▼ DIVIDE?

分けたい位置で押す

押した位置から約 4 秒間までを、くり返し再生します。

■ **途中で解除する** ➡ STOP

2 ①

∨/REW ∧/FF 押して最初の曲を選び

1 ?→

LIST/ENTER 押す

②

∨/REW ∧/FF 押して最後の曲を選び

1 → 3?

LIST/ENTER 押す

3 グループタイトルを入力して

(☞ 50ページ「文字入力のしかた」)

LIST/ENTER 押す

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。

■ グループを解除する

● **ひとつのグループを解除する**

① 手順 1-①を行い、[⏮∨/REW、⏭∧/FF]で"RELEASE?"を選び、[LIST/ENTER]を押す。

② [⏮∨/REW、⏭∧/FF]を押して、解除するグループを選び、[LIST/ENTER]を2回押す。("UTOC Writing" が表示)

● **すべてのグループを解除する**

手順 1-①を行い、[⏮∨/REW、⏭∧/FF]で"ALL RELEASE?" を選び、[LIST/ENTER]を2回押す。("UTOC Writing" が表示)

お知らせ

● **グループにできるのは、連続した曲**(例: 1曲目〜10曲目)**のみです。**

●1曲だけでもグループにできますが、1曲を複数のグループに入れることはできません。

●グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

●グループは最大99個までつくれます。(UTOCエリアの空き状況により異なります)

---

2 ∨/REW ∧/FF 押してつなぐ曲を選び

(連続した曲しかつなげません)

2 + 3?

LIST/ENTER 押す

COMBINE
2 + 3

"COMBINE" と "PRESS ENTER" が交互に表示されます。

3 LIST/ENTER 押す

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。

お知らせ

●コンバインは、つなぐ後ろの曲の再生中でもできます。

●異なるモード(SP/LP2/LP4/長時間モノラル)で録音された曲はつなげません。

---

2 ∨/REW ∧/FF 押して正確な位置を調整する

POSITION +006 ?

調整範囲
SP　：前後約8秒間
LP2　：前後約16秒間
LP4　：前後約32秒間
数値は−128から+127の範囲で表示されます。

3 LIST/ENTER 押す

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。(分けた位置にトラックマークがつきます。)

MD/SD を編集する（つづき）

準備

① 電源を入れる。
② 編集したい MD/SD を入れる。
③ “MD” / “SD” に切り換える。

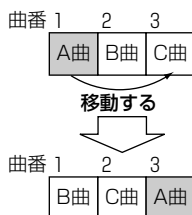
● MD のとき MD ▶/II ➡ STOP ■

● SD のとき SD ▶/II ➡ STOP ■

編集モード

演奏状態（再生・停止）または MD/SD により表示される編集モードは異なります。

	TRACK ERASE?	：数曲を消す
	ALL ERASE?	：全曲を消す
	MOVE?	：曲を移動する
MD のみ	COMBINE?	：曲をつなぐ
MD のみ	DIVIDE?	：曲を分ける
MD のみ	TITLE STATION?	：タイトルステーション
MD のみ	GROUP EDIT?	：曲をまとめる
SD のみ	CARD FORMAT?	：カードを初期化する
SD のみ	PLAYLIST?	：プレイリストを編集する

■ 途中で解除する ➡ STOP

お願い

● SD カードの編集中に SD 挿入部のふたを開けてしまったときは、カードを入れ直し、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

曲を移動する

ムーブ

MD SD

1 EDIT MODE 停止中に**押して “MOVE?” を選び**
（左記「編集モード」）

MOVE ?

LIST/ENTER **押す**

曲を消す

イレース

MD SD

1 ■ **1 曲～数曲消すとき（トラックイレース）**

EDIT MODE 停止中に**押して “TRACK ERASE?” を選び**
（左記「編集モード」）

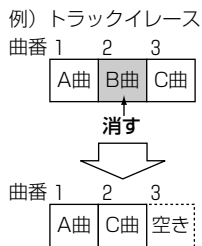
LIST/ENTER **押す**

■**全曲消すとき（オールイレース）**

EDIT MODE 停止中に**押して “ALL ERASE?” を選び**
（左記「編集モード」）

ALL ERASE?

LIST/ENTER **押す**

手順 3 へ

カードを初期化する

フォーマット

SD

カードに記録されている全てのデータを消去します。

1 EDIT MODE 停止中に**押して “CARD FORMAT?” を選び**
（左記「編集モード」）

LIST/ENTER **押す**

“FORMAT OK?” と “PRESS ENTER” が交互に表示されます。

2 ①

∨/REW ∧/FF 押して
移動する曲を選び

1 ?⇒

LIST/ENTER 押す

②

∨/REW ∧/FF 押して
移動先を選び

1 → 3 ?

LIST/ENTER 押す

"MOVE"と"PRESS ENTER"
が交互に表示されます。

3 LIST/ENTER 押す

"UTOC Writing"（MD）または
"CARD Writing"（SD）の点滅後、
編集が完了します。

お知らせ
- ムーブは再生中でもできます。

---

2 ∨/REW ∧/FF 押して
消したい曲を選び

2 ?

選んだ曲

LIST/ENTER 押す

続けて曲を消す場合は、手順 2 をくり返す。
（一度に最大 24 曲まで）

"TRACK ERASE" と "PRESS ENTER"
が交互に表示されます。

3

LIST/ENTER 押す

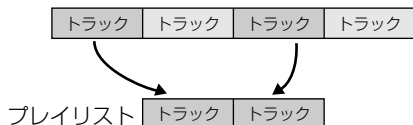
- "UTOC Writing"（MD）または "CARD Writing"（SD）の点滅後、編集が完了します。
- 全曲を消した後は "BLANK DISC"（MD）または "NO TRACK"（SD）が表示されます。

お知らせ
- トラックイレースは消したい曲の再生中でもできます。
- SD のオールイレースは、SD オーディオのファイルだけを全て消去します。
- SD では、一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、編集に時間がかかることがあります。

2

LIST/ENTER 押す

- "CARD Writing" の点滅後、編集が完了します。
- **"NO TRACK" が表示されるまで SD 挿入部のふたを開けないでください。カードが使えなくなることがあります。**

フォーマットすると、本機で録音したデータだけでなく、カードに記録されているすべてのデータが消去され、元に戻すことができません。よく確認してから実行してください。

お知らせ
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- カードの種類により、フォーマットに時間がかかることがあります。

編集

MD／SDを編集する（つづき）

SD のプレイリストを編集する

プレイリストとは
録音した曲(トラック)を集めて、再生したい順に並べたものです。

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、カードの容量はほとんど使いません。
- プレイリストのトラックを消したり新たに作成しても元のトラックには影響しません。

最大記録数
プレイリスト： 99
プレイリストに登録できる曲数： 99

準　備

“SD” に切り換える。

編集モード

TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE?
↑　↓
PLAYLIST? ←—— CARD FORMAT?

■ 途中で止める

プレイリストの新規作成

プレイリストで聞くには「リスト表示で曲を探して聞く」
(☞ 22 ページ)

1 EDIT MODE 停止中に**押して “PLAYLIST?” を選び**
(左記「編集モード」)

PLAYLIST?

LIST/ENTER **押す**

プレイリストに曲を追加する

プレイリストに曲を追加登録します。

1 EDIT MODE 停止中に**押して “PLAYLIST?” を選び**
(左記「編集モード」)

PLAYLIST?

押す

プレイリストの曲を削除する

プレイリストに登録している曲を削除します。元の曲は消去されません。
プレイリストから全曲削除すると、プレイリストも削除されます。

1 EDIT MODE 停止中に**押して “PLAYLIST?” を選び**
(左記「編集モード」)

PLAYLIST?

押す

プレイリストを削除する

1

停止中に**押して “PLAYLIST?” を選び**
(左記「編集モード」)

PLAYLIST?

押す

2 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して“PL CREATE?”を選び**

⬇ PL CREATE?

LIST/ENTER **押す**

押すたびに
PL EDIT?←→PL ERASE?
↕ ↕
PL TITLE?←→**PL CREATE?**

T: 01 _

プレイリストが全くない場合は
“PL CREATE?”しか選べません。

3 ア①カABC②サDEF③タGHI④ナJKL⑤ハMNO⑥マPQRS⑦ヤTUV⑧ラWXYZ⑨ワヲン゛゜ー⓪SPACE!"#≧10 **押して曲番を選び**（登録）

登録順 曲番
T: 05 _

●続けて選ぶときは、手順**3**をくり返す。（最大99曲）
●登録した曲は［⏮∨/REW、⏭∧/FF］で確認できます。

⬇ LIST/ENTER **押す**

4 **タイトルを入力して**
（☞ 50ページ「文字入力のしかた」）

⬇ LIST/ENTER **押す**

“CARD Writing”点滅後、プレイリストの作成が完了します。

■ **10以上のとき**（例：24）
≧10 → ② → ④

■ **100以上のとき**（例：235）
≧10 → ≧10 → ② → ③ → ⑤

---

2 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して“PL EDIT?”を選び**

⬇ PL EDIT?

LIST/ENTER **押す**

押すたびに
PL EDIT?←→PL ERASE?
↕ ↕
PL TITLE?←→PL CREATE?

3 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押してプレイリストを選び**

⬇ PL EDIT
1

LIST/ENTER **押す**

4 ①〜⑨ ⓪ ≧10 **押して追加する曲番を選び**

⬇ LIST/ENTER **押す**

“CARD Writing”点滅後、
編集が完了します。

■ **10以上のとき**（例：24）
≧10 → ② → ④

■ **100以上のとき**（例：235）
≧10 → ≧10 → ② → ③ → ⑤

---

2 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して“PL EDIT?”を選び**

⬇ PL EDIT?

LIST/ENTER **押す**

押すたびに
PL EDIT?←→PL ERASE?
↕ ↕
PL TITLE?←→PL CREATE?

3 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押してプレイリストを選び**

⬇ PL EDIT
1

LIST/ENTER **押す**

4 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して削除する曲番を選び**

⬇ DEL **押して**

⬇ LIST/ENTER **押す**

“CARD Writing”点滅後、
編集が完了します。

---

2 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して“PL ERASE?”を選び**

⬇
PL ERASE?

LIST/ENTER **押す**

押すたびに
PL EDIT?←→**PL ERASE?**
↕ ↕
PL TITLE?←→PL CREATE?

3
∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **削除するプレイリストを選び**

⬇ PL ERASE
1

LIST/ENTER **押す**

“PL ERASE”と“PRESS ENTER”
が交互に表示されます。

4
LIST/ENTER **押す**

“CARD Writing”点滅後、
編集が完了します。

編集

SDのプレイリストを編集する

MD/SD にタイトルを付ける

- 文字数は MD1 枚に最大約 1700 文字まで入力できます。タイトルごとに MD では最大100 文字、SD では最大 32 文字まで入力できます。(MD の場合、カナ文字では約半分の文字数となります。MD の LP2/LP4 モードで録音した曲の場合は最大文字数は減ります)
- タイトルの種類
  - ディスク名（ディスクタイトル）
  - グループ名(グループタイトル)
  - プレイリスト名(プレイリストタイトル)
  - 曲名(トラックタイトル)
  - アーティスト情報（アーティストタイトル）

準 備

① 電源を入れる。
② タイトルを付けたい MD/SD を入れる。
③ “MD” / “SD” に切り換える。

● MD のとき

● SD のとき

■途中で解除する

(お知らせ)

他の機器で漢字・ひらがなのタイトル入力をしている MD や SD をさらに本機でタイトル入力した場合、他の機器で正しくタイトル表示されないことがあります。

文字入力のしかた

タイトル入力画面（☞ 45、49、51、53、55 ページ）にした後、入力します。

1

押して文字の種類を選ぶ

押すたびに
カナ<ア>→英大< A >→英小< a >→数字< 1 >

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2

押して文字を選ぶ

選んだ文字を表示　文字の種類

3

押す

文字が確定され、次の文字が入力できます。

グループタイトルを付ける

MD

1 EDIT MODE 停止中に**押して “GROUP EDIT?” を選び**

GROUP EDIT?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE STATION? → GROUP EDIT?

押す

プレイリストタイトルを付ける

SD

1 EDIT MODE 停止中に**押して “PLAYLIST?” を選び**

PLAYLIST?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → CARD FORMAT? → PLAYLIST?

LIST/ENTER
押す

■入力を途中で止める ➡ STOP (■)

ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは残ります。

■ ゛ ゜ ―を入力する ➡ 数回押す

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■記号を入力する ➡

押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , − . / : ; < = > ? @
[¥] ^ _ ` { | } ~

（␣は空白です。░部分は SD のみ使用可能です。）

■入力済みの文字を変更する

ALBUM/GROUP (◀) (▶) 押して変更する文字にカーソルを合わせる。

●文字を訂正する

(DEL) 押して文字を消してから新しい文字を入力する。

●文字を削除する ➡

■文字の間に新しい文字や空白を入れる

ALBUM/GROUP (◀) (▶) 挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる。

●文字を挿入する

新しい文字を入力して GROUP (▶)

● 1 文字あける

SPACE!"# (≧10) 押して“␣（空白）”を選び

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ <ア>	アルファベット 大文字 <A>	アルファベット 小文字 <a>	数字 <1>
ア ①	アイウエオ ァィゥェォ			1
カ ABC ②	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF ③	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI ④	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL ⑤	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO ⑥	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS ⑦	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV ⑧	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ ⑨	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー ⓪	ワヲンー 。「」、・			0

（░部分は SD のみ使用可能です。）

2   押して“TITLE INPUT?”を選び

押すたびに

GROUP SET? ⟷ TITLE INPUT?
↕ ↕
ALL RELEASE? ⟷ RELEASE?

グループが全くない場合は“GROUP SET?”しか選べません。

LIST/ENTER 押す

3   押してグループを選び

G 1

LIST/ENTER 押す

4 グループタイトルを入力して

（上記「文字入力のしかた」）

LIST/ENTER 押す

“UTOC Writing”の点滅後、編集が完了します。

2 ∨/REW ∧/FF 押して“PL TITLE?”を選び

押す

押すたびに

PL EDIT? ⟷ PL ERASE?
↕ ↕
PL TITLE? ⟷ PL CREATE?

3 ∨/REW ∧/FF 押してプレイリストを選び

PL TITLE
1

押す

4 プレイリストタイトルを入力して

（上記「文字入力のしかた」）

押す

“CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。

MD/SD にタイトルを付ける（つづき）

準　備

① 電源を入れる。
② タイトルを付けたい MD/SD を入れる。
③ “MD” / “SD” に切り換える。

● MD のとき MD ►/❚❚ ➡ STOP ■

● SD のとき SD ►/❚❚ ➡ STOP ■

■途中で解除する
［LIST／ENTER］を押し、タイトルを確定するまでに ➡ TITLE IN

入力モードが解除されます。

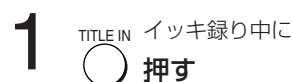
お知らせ

● MD を LP2/LP4 モードで録音したり、グループの設定を行った場合、入力できる最大文字数は減ります。（カナ文字では約半分の文字数）
●入力途中で録音/再生が終わった場合、入力モードは解除されます。ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
●プログラム/ランダム/1 グループプレイ中やリスト表示中は、タイトル入力できません。各設定を解除して行ってください。
●タイトル入力している CD や SD から MD への録音時には、自動的に MD にタイトルが付きますが、手動では付けれません。

録音済み MD/SD にタイトルを付ける

MD
ディスクタイトル
トラックタイトル

SD
トラックタイトル
アーティストタイトル

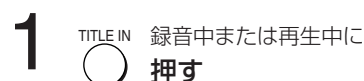
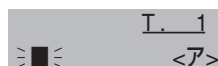
1 TITLE IN 停止中に **押す**

例： MD の場合

DISC TITLE

イッキ録り中にタイトルを付ける

MD
グループタイトル
トラックタイトル

イッキ録りしながら、CD1 枚ずつタイトルを付けることができます。

1 TITLE IN イッキ録り中に **押す**

グループタイトル入力画面になります。

録音中または再生中にタイトルを付ける

MD
トラックタイトル

1 TITLE IN 録音中または再生中に **押す**

トラックタイトル入力画面になります。

2 押して タイトルの種類や 曲番を選ぶ

例： MD の場合

■ディスクタイトル（MD のみ）

DISC TITLE

■トラックタイトル

T. 1
TR TITLE
曲番

3 押す

<ア>
カーソル

4 タイトルを入力して

（☞ 50 ページ「文字入力のしかた」）

押す

“UTOC Writing”（MD）または“CARD Writing”（SD）点滅後、タイトル入力が完了

■アーティストタイトル（SD のみ）
再度手順 **4** を行いアーティストタイトル入力をします。

ARTIST NAME

■続けてタイトルを入力する場合
必要に応じて手順 **2-4** をくり返す。

■入力を終える場合
TITLE IN 押す

---

2 グループタイトルを入力して

（☞ 50 ページ「文字入力のしかた」）

押す

3 トラックタイトルを入力して

（☞ 50 ページ「文字入力のしかた」）

押す

● 次のトラック入力画面になります。

お知らせ
● タイトルを入力しなくても [LIST/ENTER] を押すと次のタイトルに進むことができます。

---

2 トラックタイトルを入力して

（☞ 50 ページ「文字入力のしかた」）

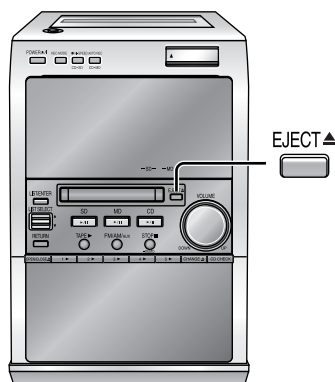
押す

タイトルが確定され、通常の表示に戻ります。

お知らせ
● 再生中にタイトルを付けた後は、MD 編集できません。編集する時は、[■ STOP] を押して、“UTOC Writing”の点滅後に行ってください。

MD/SD にタイトルを付ける（つづき）

準 備

① 電源を入れる。
② CD/MD を入れる。
③ “CD”/“MD” に切り換える。

● CD のとき

（CD を選ぶ場合）

● MD のとき

他の MD に MD のタイトルをコピーする

タイトルステーション

MD

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。入力の手間が省けて便利です。

コピー元の MD を入れる

1 EDIT MODE 停止中に**押して “TITLE STATION?” を選び**

TITLE STATION?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP EDIT? MOVE?
↑ ↓
TITLE STATION? ← COMBINE?

押す

“TITLE STATION?” と “PRESS ENTER” が交互に表示されます。

CD のタイトルを記憶させる

CD タイトルメモリー

CD

タイトルを記憶させておくと、選曲する（☞ 22 ページ「リスト表示で曲を探して聞く」）のに便利です。

本機は CD（通常の音楽 CD）100 枚分の（ディスク/アーティスト/トラック）タイトルを記憶できます。
CD1 枚につき最大 25 曲分のタイトルが記憶できます。
各タイトルは最大 32 文字まで入力できます。

1 TITLE IN 停止中に **押す**

DISC TITLE

CD のタイトルを記憶させる

2 押して

MEMORY
COMPLETE
EJECT MD

EJECT▲ 押して
コピー元の MD を
取り出す

INSERT MD

3 コピー先の MD を
入れて

Write OK?
PRESS ENTER

 押す

UTOC Writing

点滅後、タイトルのコピーが完了。

■途中で解除する

STOP

（お知らせ）

- **コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。**
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD 1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に"LP：" と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。

2

∨/REW ∧/FF 押して
タイトルの種類
や曲番を選び

■ディスクタイトル

DISC TITLE

■アーティストタイトル

ARTIST NAME

■トラックタイトル

曲番

TRACK 1
TRACK TITLE

押す

カーソル

<ア>

3 ①
タイトルを入力して

（☞ 50 ページ「文字入力のしかた」）

- 入力したタイトルは本機でのみ表示されます。
- 入力したディスクタイトルとトラックタイトルは、MD/SD へ録音時にコピーされます。

 押す
"TITLE WRITE"
が表示されます。

続けてタイトルを入力する場合
必要に応じて手順 **2**、**3**-①の操作をくり返します。

② 入力を終える場合

TITLE IN

 押す

タイトル入力が完了します。

■タイトルを消す

①停止中に EDIT MODE

（"TITLE ERASE ?" が表示）

② ▲ ▼ 消したいタイトルを選ぶ

（入力した全てのディスクタイトルの中から選びます。）

③ LIST/ENTER

④ LIST/ENTER "COMPLETE" が表示されタイトルが消去されます。

続けてタイトルを消す場合は
[LIST/ENTER] を押して手順②
から行う。
操作を終えるには[■ STOP]を押す。

■タイトルを確認する

 DISPLAY -LIGHT 数回押す

■途中で解除する

 STOP

編集

MD／SDにタイトルを付ける（つづき）
CDのタイトルを記憶させる

時計を合わせる/タイマーを使う

準 備

電源を入れる。

時計を合わせる

例：
土曜日の 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる場合

1 CLOCK/TIMER 押して“CLOCK --:--”を選ぶ

CLOCK
-- : --

押すたびに
CLOCK → ⌚PLAY → ⌚REC
↑―― 元の表示 ←――┘

おめざめタイマーを使う

設定した曜日／時刻に好みの音源を再生します。

例：
金曜日の 6：30 ～ 7：40 まで好みの音源を再生する場合

●時計を合わせておく。（上記参照）

1 CLOCK/TIMER 押して“⌚ PLAY”を選ぶ

2 ① ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **10 秒以内** 押して曜日を合わせ

（左記「おめざめタイマーの曜日」）

FRI

LIST/ENTER 押す

3 ① CD ▶/❚❚ MD ▶/❚❚ SD ▶/❚❚ TAPE ▶ FM/AM/AUX 押して好みの音源を再生する

4 ① ⌚PLAY/REC 押して“⌚ PLAY”を選び

⌚PLAY

押すたびに
⌚PLAY → ⌚REC-MD → ⌚REC-SD → ⌚REC-TAPE
↑ （留守録タイマー設定時のみ）
TIMER OFF（解除）←

時計の曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔ WED（水）
↕ ↕
SAT（土）←→ FRI（金）←→ THU（木）

おめざめタイマーの曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔ WED（水）
↕ ↕
SAT,SUN（土、日） THU（木）
↕ ↕
MON to FRI（月～金） FRI（金）
↕ ↕
MON to SAT（月～土）↔ SUN to SAT（毎日）↔ SAT（土）

2 [∨/REW ⏮] [∧/FF ⏭] **10 秒以内**
押して曜日を選び

（☞ 左ページ「時計の曜日」）

SAT

元の表示に戻ったときは、手順 **1** からやり直してください。

押す

3 [∨/REW ⏮] [∧/FF ⏭]
押して時計を合わせて

SAT
16:25

押したままにすると時刻表示が連続して変化します。

押す

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

■ 時計を確認する

- 時計表示は電源「切」のとき消えています。
- 電源「切」時に確認するには、[DISPLAY ― LIGHT] を押す。

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- コンセントを抜いたり、停電したときは、もう 1 度設定してください。
- [■ STOP] を押すと途中で解除できます。

◴PLAY

押すたびに
CLOCK → ◴**PLAY** → ◴REC
↑―― 元の表示 ←――

■ 解除する

◴PLAY/REC 数回押して “◴ PLAY” を消す

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

CLOCK/TIMER （約 10 秒間表示）

■ 設定内容を変える
① 電源を入れ、[◴ PLAY/REC] を押して、“◴ PLAY” を消す。
② 最初からやり直す。
（音源だけを変えたい場合は手順 **3**、**4** を行う）

■ タイマー設定後に演奏を楽しむ
- 電源を入れ、通常の再生操作をする。
- 音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。
- 再生後は、必ず電源を切る。

②

[∨/REW ⏮] [∧/FF ⏭]
押して開始時刻を合わせ

6:30→ 0:00

押す

③

[∨/REW ⏮] [∧/FF ⏭]
押して終了時刻を合わせ

6:30→→7:40

押す

②

音量を調節して

③

STOP (■)
CD・MD・SD・テープは再生を止める

■ 別売り機器を使ってタイマー設定する
① 手順 **3** で [FM/AM/AUX] を押して “AUX” にする。
② 接続した機器（☞ 60 ページ）を本機と同時刻に動作するように設定する。

②

押して電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した曜日／時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。
（動作中は、“◴ PLAY” が点滅）
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 好みの曲でタイマー設定する
手順 **3** でプログラム予約する。
（☞ 16 ページ）

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

準　備

電源を入れる。

留守録タイマーの曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔ WED（水）
↕　↕
SUN to SAT（毎日）↔ SAT（土）↔ FRI（金）↔ THU（木）

留守録タイマーを使う

設定した曜日／時刻にラジオ放送などを録音します。

例：
土曜日の 18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合

●時計を合わせておく。（☞ 56ページ）
●録音用 MD/SD/テープを入れる

1 CLOCK/TIMER 押して“◴REC”を選ぶ

2 ① **10 秒以内**

V/REW Λ/FF 押して曜日を合わせ

（左記「留守録タイマーの曜日」）

SAT

LIST/ENTER 押す

3 ① FM/AM/AUX 押して“FM”または“AM”を選び

押すたびに
FM → AM
↑ AUX ←

4 ① ◴PLAY/REC 押して録音先を選び

押すたびに
◴REC-MD → ◴REC-SD → ◴REC-TAPE
↑ ↓
◴PLAY ← TIMER OFF
（おめざめタイマー設定時のみ）（解除）

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

SLEEP –AUTO OFF “AUTO OFF”と表示されるまで押したままにする

AUTO OFF

押すたびに
AUTO OFF
↓↑
SCREEN SAVER（解除）
（☞ 8ページ「スクリーンセーバー」）

お知らせ

●一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
●CD、MD、SD、テープの停止中のみ働きます。

⏲REC

押すたびに
CLOCK → ⏲PLAY → ⏲REC
└── 元の表示 ←──┘

②

∨/REW ∧/FF

押して
開始時刻を合わせ

18:30→→ 0:00

押す

③

∨/REW ∧/FF

押して
終了時刻を合わせ

18:30→→20:00

押す

②

∨/REW ∧/FF

押して
周波数、または
チャンネルを
合わせる

MDやSDに録音する場合は
必要に応じて設定します。

- SP/LP2/LP4モード(MD)
  (☞ 33ページ)
- XP/SP/LPモード(SD)
  (☞ 35ページ)
- 入力レベル(☞ 60ページ)
- 録音タイプ(☞ 39ページ)

設定した時点(手順**4**-①)での内容が記憶されます。

● **MDに録音**

⏲ REC-MD
⏲REC

● **SDに録音**

⏲ REC-SD
⏲REC

● **テープに録音**

⏲ REC-TAPE
⏲REC

②

押して
電源を切る

電源を切らないとタイマーが
動作しません。

頭切れ防止のため、設定した曜日／時刻の30秒前になると電源が入り、録音が始まります。
(動作中は、"⏲ REC"が点滅)

終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 解除する

➡ ⏲PLAY/REC 数回押して
"⏲ REC"を消す

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

➡ CLOCK/TIMER

■ 設定内容を変える

① 電源を入れ、[⏲ PLAY/REC]を押して、"⏲ REC"を消す。
② 最初からやり直す。

■ タイマー設定後に演奏を楽しむ

- 音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。
- 再生後は、必ず電源を切る。

■ 別売り機器を使ってタイマー設定する

① 手順**3**で[FM/AM/AUX]を押して"AUX"にする。
② 接続した機器(☞ 60ページ)を本機と同時刻に動作するように設定する。

お知らせ

- 録音時、音量は自動的に最小になります。
- 留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。
- 容量の大きいSDカードに録音する場合、録音を開始するまでに時間がかかることがあるため、開始時刻を早めて設定してください。
- テープに録音する場合、おもて面への録音が終わるとテープは自動停止します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると再生を停止し、自動的に電源が切れます。

SLEEP-AUTO OFF

音源を聞きながら
押して
再生時間を選ぶ

SLEEP 30

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120
↑
OFF(解除) ←──┘
(単位：分)

■ 解除する

➡ SLEEP-AUTO OFF "SLEEP OFF"を選ぶ

■ 残り時間を確認する

➡ SLEEP-AUTO OFF 1回押す

■ 残り時間を変える

➡ SLEEP-AUTO OFF 数回押して、
新たに時間を設定する

お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

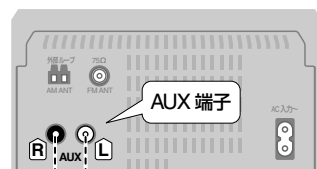
ポータブル MD・テレビなどを楽しむ

準 備

①別売り機器をつなぐ(右記)
②電源を入れる。
③録音用 MD/SD/テープを入れる。

- MD に録音時
  SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。
  (☞ 33 ページ)
- SD に録音時
  XP/SP/LP モードを選ぶ。
  (☞ 35 ページ)

■録音を停止する → STOP

■ MD/SD の残り時間を確認する → DISPLAY –LIGHT 数回押す

お知らせ

- 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- “SYNCHRO” モードでは無音状態が約 3 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
- 録音する曲の種類によっては、“SYNCHRO” を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、“MANUAL” で録音してください。
- テープに録音する場合、おもて面への録音が終わるとテープは自動停止します。

別売り機器を接続する

- ポータブル MD
- テレビ
- ビデオ
- 有線
- BS・CS チューナーなど

電源を切った状態で接続します。

本機で聞くまたは本機で録る

1
- テレビ、有線放送、CS/BS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく。
- ポータブル MD の場合、ポータブル MD 側で音量の調節を行っておく。

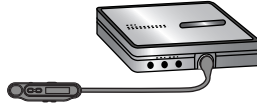
FM/AM/AUX 押して “AUX” を選ぶ

録る

押すたびに
FM → AM → AUX

聞く

次に別売り機器を再生する

入力レベルを変更する

別売り機器から MD や SD に録音して、音量に不足を感じる場合などに使用します。

1 FM/AM/AUX 押して “AUX” を選び

押すたびに
FM → AM → AUX

別売り品の品番は、2004 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

2 PLAY MODE –REPEAT 押す

HIGH

押すたびに
HIGH　：入力レベルを上げるとき
↕
NORMAL：入力レベルを変えないとき

ポータブルMD・テレビなどを楽しむ

使いこなす

音質・音場効果を楽しむ

好みの音質を楽しむ

イコライザー

“PRESET EQ” と “MANUAL EQ” の 2 種類があります。

■ PRESET EQ

1 SOUND 押す

MANUAL EQ では BASS（低域）と TREBLE（高域）の調整が行えます。

■ MANUAL EQ

1 SOUND 押す

音に臨場感を与える

サラウンドサウンド

1 SOUND 押す

より自然な音で聞く

リ.マスター

WMA/MP3 または MD/SD の圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

1 SOUND 押す

音質・音場モード

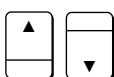
PRESET EQ ： プリセットイコライザー
↕
MANUAL EQ ： マニュアルイコライザー
↕
SURROUND ： サラウンドサウンド
↕
RE-MASTER ： リ.マスター

一時的に消音にする

ミューティング

MUTING 押す

MUTING

■解除する
●もう一度押す。
●音量を最小 “0”にしてから上げる。
●電源を切/入にする。

2 ▲ ▼ 押して"PRESET EQ"を選び

（☞ 左ページ「音質·音場モード」）

PRESET EQ

LIST/ENTER 押す

3 ▲ ▼ 押して好みの音質を選び

HEAVY

LIST/ENTER 押す

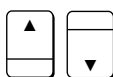
押すたびに
HEAVY　：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR　：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT　：BGM として聞くとき
VOCAL　：ボーカルにつやを出したいとき
FLAT　：音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は"HEAVY"です。

---

2 ▲ ▼ 押して"MANUAL EQ"を選び

（☞ 左ページ「音質·音場モード」）

MANUAL EQ

LIST/ENTER 押す

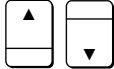
3 ALBUM/GROUP 押して"BASS"（低域）または"TREBLE"（高域）を選び

BASS　TREBLE
0　0

▲ ▼ 押してレベルを調整する

±４段階ずつ調整できます。

LIST/ENTER 押す

---

2 ▲ ▼ 押して"SURROUND"を選び

（☞ 左ページ「音質·音場モード」）

SURROUND

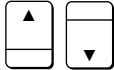
LIST/ENTER 押す

3 ▲ ▼ 押して好みの音場を選び

SURROUND 1

LIST/ENTER 押す

押すたびに
SURROUND 1　：音楽に自然な臨場感を与えるとき
SURROUND 2　：映画音声に臨場感を与えるとともにセリフを聞きとりやすくするとき
SURROUND OFF：音場効果を使わないとき

---

2 ▲ ▼ 押して"RE-MASTER"を選び

（☞ 左ページ「音質·音場モード」）

RE-MASTER

LIST/ENTER 押す

3 ▲ ▼ 押して"RE-MASTER ON"を選び

RE-MASTER ON

LIST/ENTER 押す

■解除する
手順３で"RE-MASTER OFF"を選びます。

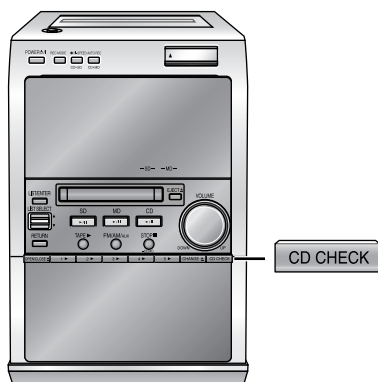
お知らせ
- 録音中、リ. マスターは変更できません。
- SD に録音された WMA 再生時は働きません。

豊かな低音で聞く

より再生帯域の広いスピーカーで聞いている効果が得られ、厚みのある低音で楽しめます。

H.BASS 押す

H.BASS
1

押すたびに
H.BASS 1　：低音の厚みが増します
H.BASS 2　：より低音の厚みが増し、迫力が得られます
H.BASS OFF　：解除

お買い上げ時の設定は"H.BASS 1"です。

お知らせ
再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

便利な機能

別売り品の品番は、2004年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

時間やタイトルなどの情報を見る

ディスプレイ

DISPLAY –LIGHT 数回押す

主な表示内容

●再生経過時間
●再生中の曲の残り時間
● MD や SD の残り時間

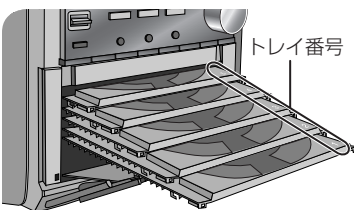
例：再生経過時間

0:23

(お知らせ)

●表示される内容は、現在行っている操作や音源などによって異なります。

表示部やライトの明るさを変える

ライトモード

DISPLAY –LIGHT 押したままにする

押すたびに
ライト点灯／表示部（明）
↑ ↓
ライト消灯／表示部（暗）

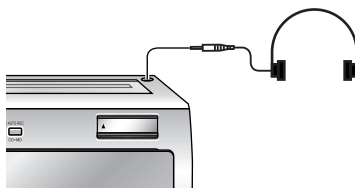
CD（12cm）が入っているトレイを確認する

CD チェック

CD CHECK 押す

すべてのトレイが開きます。
再生中のトレイは開きません。

閉めるにはもう一度ボタンを押す。

お願い

CD チェック中は、次のことをお守りください。
● CD を出し入れしない
●トレイを引っ張ったり、押したりしない

ヘッドホンで聞く

ヘッドホン（別売り）
プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
●推奨品：　RP-HT530（別売り）
　　　　　RP-HT242（別売り）

お願い

●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

SDをさらに楽しむ

別売り品の品番は、2004年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

本機で録音したあとで・・・

詳しくは、下記ホームページをご参照ください。

http://panasonic.jp/support/

ポータブル機器で聞くには…

AAC に対応しているSDオーディオ対応機器などで再生できます。

■再生できる機器のご紹介

SDマルチカメラ（D-snap）

- SV-AS30
- SV-AS3
- SV-AV35など

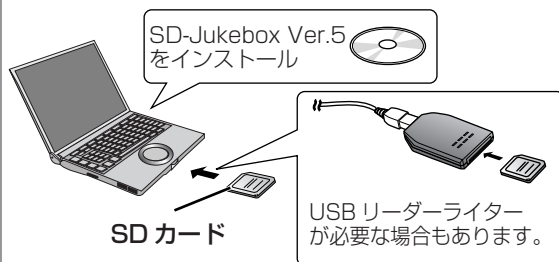
SDオーディオプレーヤー

- SV-SD100V
- SV-SD90
- SV-SD80
- SV-SD50など

テレビやDVDレコーダー、デジタルカメラなどが、SDオーディオに対応していない場合、本機でSDに録音した曲を聞くことはできません。

■他社製品との互換性

AACが再生可能なSDオーディオ対応機器であることをご確認ください。

本機は、SDオーディオ規格に準拠したSDメモリーカードの録音・再生に対応していますが、すべてのSDオーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。
動作確認済み機器については、ホームページ（http://panasonic.jp/support/audio/mini/）をご覧ください。

パソコンに残すには…

マイグレート対応のソフトウェア「**SD-Jukebox Ver.5**」（別売り）を使って、以下のようなことができます。

- SDの曲（音楽データ）をパソコンに保存
- タイトルの編集
- プレイリストの作成、編集
- パソコンで保存した曲を、SDカードに書き込む

■ご用意いただくもの

- SD-Jukebox Ver.5
- セキュア対応（著作権保護機能）のSDカードスロットを装備したWindowsパソコン（スロットがない場合やセキュア対応でない場合、USBリーダーライターのみ）

■ SD-Jukebox Ver.5を使うときのお知らせ

- SD-Jukebox Ver.5では、漢字でタイトルを入力できますが、本機の表示部は漢字/ひらがなタイトルに対応していないため、表示されません。
- 著作権保護のため、同じ曲をチェックアウト（パソコンからSDへ音楽データを書き込むこと）できる回数に制限があります。

別売り品のご紹介

SDオーディオPCレコーディングキット
(SD-Jukebox Ver.5、USBリーダーライター付属)
- SH-SSK40

USBリーダーライター
- BN-SDCGP3

SDメモリーカード
- RP-SDK01GJ1A (1 GB)
- RP-SDK512J1A (512 MB)
- RP-SDH256N1A (256 MB)
- RP-SD128BL1A (128 MB)
- RP-SD064BL1A (64 MB)
- RP-SD032BL1A (32 MB)

安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

ご使用について

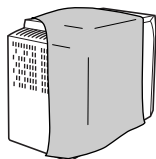
分解、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

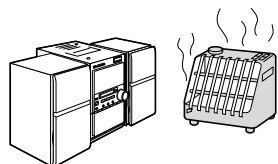
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

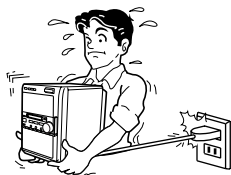
閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

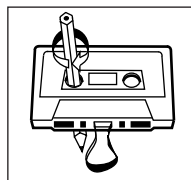
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

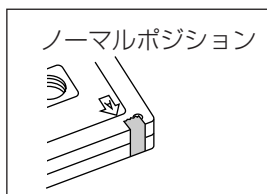
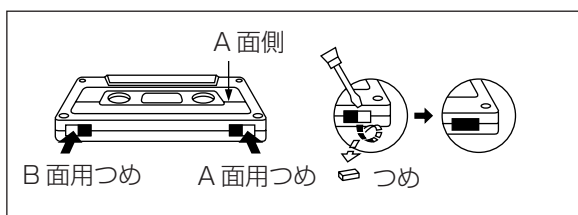
電池について

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

テープについて

■ 100分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

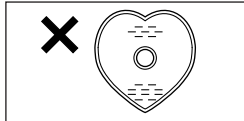
■ エンドレステープについて
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■ テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには
①[▶ TAPE]を押して、“TAPE”を選び[■ STOP]を押す。
②テープを入れる。
③[●/❚❚ REC]を押しながら、[TAPE]を押す。
　両面とも上記操作を行ってください。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。
- テープに付属している以外のシール(特に厚みのあるシール)を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

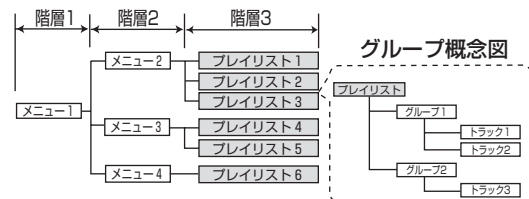
■CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA、WMA または MP3 フォーマットで記録された CD-R と CD-RW 再生に対応しています。CD-DA フォーマットの場合は音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

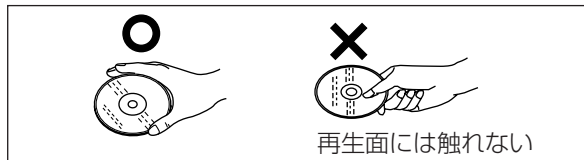
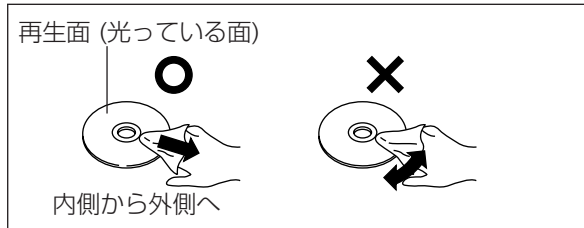
※ CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

- ●本機はマルチセッションに対応しています。セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- ●同一ディスクで WMA または MP3 と CD-DA (通常の音楽 CD) の両方の形式が別のセッションに記録されている場合、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
- ●パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ●本機は ID3 タグに対応していません。
- ● Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  (WMA9 の Professional,Lossless,Voice 及び MBR※には対応していません。)
  ※ Multiple Bit Rate :一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式
- ● WMA、MP3 では JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり、再生できない場合があります。

(お知らせ)

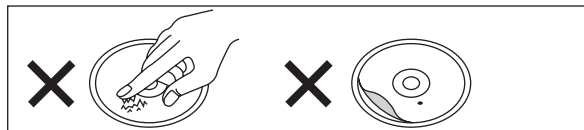
- **●著作権保護された曲は、本機では “TRACK PROTECTED” と表示され再生できません。**
- **●詳しくは、WMA の曲を作成する際に使用したソフトのメーカーにお問い合わせください。**

HighMAT について

- ●HighMAT™ 規格は音声 / 画像 / 動画ファイルを CD-R / RW に記録するときの管理フォーマットです。**本機では WMA / MP3 の音楽ファイルが記録されたディスクを再生できます。**
- ●再生する曲と順番を定めた**プレイリスト**に合わせて再生できます。
- ●**プレイリスト**はパソコンで作成することができ、アーティスト名やアルバム名、ジャンル等の検索に便利です。
- ●メニューは最大 8 階層まで作ることができます。

プレイリスト概念図

□ : メニュー(プレイリストを探すための条件項目)
■ : プレイリスト
グループ : プレイリスト内の好みのひと固まり

取扱上のお願い

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品 : クリーニングクロス　VUA7091
　　　(サービスルート扱い)

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

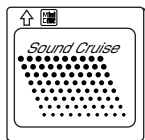
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

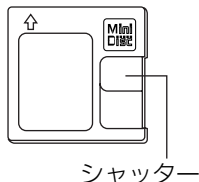
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

HighMAT、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer 3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA (Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

MD について

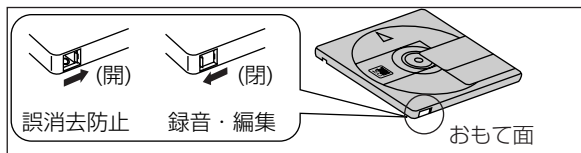
MD の種類

■演奏専用 MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は、収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー” の禁止。）またこのような制限がある CD から MD へのデジタル録音もできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

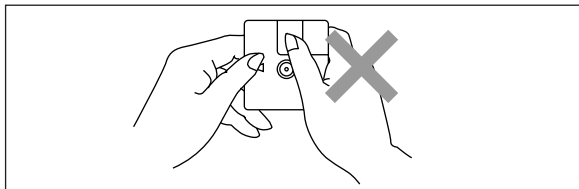
■トラックマーク

録音部分に記録される “区切り” のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲まで記録することができます。

■TOC（トック）（Table of Contents）

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing” と表示され注意を促します。

■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

MD の制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

SD について

本機で使用できるカードについて

- SD メモリーカード、miniSD™ カード（miniSD™ アダプターが必要です）が使えます。
- 利用可能な SD カード
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、
  256 MB、512 MB、1 GB
  詳細は http://panasonic.jp/support/audio/mini/
  を確認してください。
- マルチメディアカードは使用できません。
- カードは記録前に本機でフォーマットすることをおすすめします。（☞ 46 ページ）
- Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  (WMA9 の Professional,Lossless,Voice 及び MBR※ には対応していません。)
  ※ Multiple Bit Rate :一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式

録音・編集について

SD カードへの録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※」を採用しています。
※SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。

■音楽の著作権保護のために

著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するための暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、ご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」(別売り) をご使用ください。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

■録音・編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、カードを取り出したり、SD 挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。
“CARD Writing”の点滅中に電源が切れたり、SD 挿入部のふたを開けたりカードを取り出したりすると、録音・編集・タイトル入力が正しくされないだけでなく、カードが使えなくなることがあります。

- 録音時に誤ってふたを開けてしまったときは、カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。(CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常録音はできます。ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。
- 編集時に誤ってふたを開けてしまったときは、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

■デジタル録音の制限について

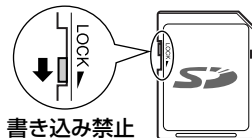
CD から SD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

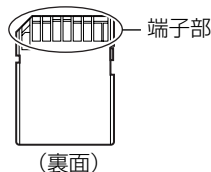
■SD1 枚への録音は、収録時間内で最大 998 曲までです

実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

再生について

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。

フォーマットについて

- フォーマットは必ず本機で行ってください。（☞ 46 ページ）他の機器でフォーマットしたカードは使用できないことがあります。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音・編集するときは解除してください。

- 操作の途中にカードを抜いたり、電源コードを抜き差ししたりしないでください。データが破壊されることがあります。

取扱上のご注意

- 使用機器から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

SD ロゴは商標です。

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	60
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
MD／SD	MD に長時間録音する方法は？	録音モードを変更して "LP2" または "LP4" を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	33
	MD や SD の残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［DISPLAY －LIGHT］を数回押してください。	64
	録音済み MD や SD に上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。 残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	46
	録音済み MD や SD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	—
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に "LP:" と表示され、無音で再生されます。	—
	miniSD を使用できますか？	miniSD アダプターを装着することで楽しめます。	15
	MMC（マルチメディアカード）を使えますか？	使用できません。	—
	IC レコーダーで録音した SD を本機で再生できますか？	本機では再生できません。 AAC、WMA、MP3 以外は再生できません。	—
その他	ハイポジションテープやメタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	—
	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも 1 つの方法です。	62
	全曲録音できないが、どうすれば？	複数の CD から MD や SD またはテープに録音する場合などで、全曲録音できないことがあります。CD など録音元の総再生時間、MD や SD、テープの残り時間、MD の SP/LP2/LP4 モードや SD の XP/SP/LP モードを確かめてから録音してください。	—

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 グループ設定中は MD や SD の編集やタイトル入力できません。	各設定を解除したうえで、編集操作を行ってください。
	タイトルがついた CD や SD から MD への録音中はタイトル入力ができません。	録音終了後に、タイトルを入力してください。
CARD FULL	SD カードの空き時間が足りません。	不要な曲を消す（☞ 46 ページ）か、カードを取り替えてください。
CARD LOCKED	本機では使用できないカードです。	カードを取り替えてください。
CARD PROTECTED	SD カードへの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	解除してから録音、編集してください。
CHECK CARD	本機では使用できないカードです。または、本機で使用できるような初期化がされていません。	カードの内容をご確認のうえ、本機で初期化するか、カードを取り替えてください。
CHECK CD（点滅）	イッキ録りを行う前にすべての CD をチェックしています。	チェック完了までしばらくお待ちください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生しました。	MD/SD を入れ直し、操作し直してください。
F □□ H □□ （□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	一度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
LOAD ERROR Press EJECT	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。	[EJECT ▲] を押して、MD を取り出してください。挿入方向とシャッターが閉じていることを確認して、再度入れてください。
MEMORY FULL ERASE TITLE	100 枚を超えて CD のタイトルを入力しようとしています。	不要なタイトルを消してから再度入力してください。
NO DISC	CD または MD が入っていません。	CD または MD を入れてください。
NO PLAY	再生できないトラックです。	そのトラックをスキップして再生します。
	WMA / MP3 の読み取りに問題が発生しました。	再生できません。
	WMA ディスクで、情報部に JPEG など大きなデータが入っていると再生できない場合があります。	
NO REMAIN	MD や SD に空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD や SD に取り替えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
NO TRACK	SD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
NO WMA/MP3	CD-ROM ディスクで WMA/MP3 がありません。	再生できません。
NOT MP3 ERROR	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
OPEN	SD 挿入部のふたが開いています。	ふたを閉じてください。
PGM（点滅）	プログラム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	プログラムを解除してから操作してください。
PGM FULL	予約曲数が 24 曲を超えようとしています。	これ以上の予約はできません。
PLAYBACK CARD	演奏専用 SD に録音・編集しようとしました。	録音用 SD に取り替えてください。
PLAYBACK DISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。

こんな表示が出たら（つづき）

表　示	意　味	処　理
READ ERROR	WMA/MP3 で再生しようとしたトラックが読み取れませんでした。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
RND（点滅）	ランダム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	ランダムを解除してから操作してください。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD や SD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS（☞ 70、71 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD や SD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。[EDIT MODE] を "ANALOG-REC" が表示されるまで押したままにしてアナログ録音に切り換えてください。
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。
	SD のプレイリストへの登録曲数が 99 曲を超えようとしています。	これ以上の登録はできません。
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	本機で入力できる文字数の制限を超えています。	制限を超えた入力はできません。
TOC ERROR	WMA/MP3 または MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、WMA/MP3 または MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
TOC READING	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	"TOC READING" 消灯後に操作してください。
TRACK FULL	SD カードへの録音は最大 998 曲です。	不要な曲を消す（☞ 46 ページ）か、カードを取り替えてください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	MD では編集・消去していいか、確認してから操作してください。
		WMA ではそのトラックをスキップして再生します。
U30 REMOTE □（□は 1 または 2）	リモコンモードの設定が本体の設定と合っていません。	リモコンモードを変更してください。リモコンの [LIST/ENTER] を押しながら [1] または [2]（"□" で表示された番号）を約 2 秒間押す。
UTOC FULL	タイトルの書き込みやグループ編集またはディバイドやムーブができるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。（MD1 枚の最大曲数は 254 曲）	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにつないでください。

故障かな！?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	6
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	7
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	本機のスピーカーコードの⊕⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	7、60
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	7
	操作ができない	本機の上に重たいものなどを載せて、[OPEN ▲] が押された状態になっていませんか。	本機の上に重たいものを載せないでください。	—
ラジオ	FM 放送や AM 放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続する。	6、7
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “STEREO” が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	27
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	27
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
		FM ステレオ放送中に音場効果を使用していませんか。	サラウンドサウンド設定において“SURROUND OFF”を選ぶ。	62
CD	CD を入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	69
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	—
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	69
	MD/SD への高速録音時に音飛びやノイズが記録される。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いている場合は CD を交換してください。 指紋は柔らかい布でふいてください。きれいに拭いたあと通常の録音を行うと改善される場合があります。 CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	—
	CD-R/RW から録音できない。			
	5CD イッキ録りができない。	ディスクが WMA/MP3 ではありませんか。	WMA/MP3 は 5CD イッキ録りできません。他の方法で録音してください。	
			ディスクや条件によってイッキ録りができないことがあります。	
	CD トレイふたが正しく閉まらない。	—	① [POWER ⏻/I] を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ② [POWER ⏻/I] を押す。 電源が入り“WAIT”と表示されます。 “WAIT” が消えてからご使用ください。	
	高速録音ができない。	録音を終了した時点から約 74 分間待たずに同じ CD を高速録音しようとしませんでしたか。	約 74 分待ってから録音する。 通常の録音を行う。	30

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	—
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	70
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。	文字数には制限があります。	50
	MDを入れても“TOC READING”が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で[EJECT ≜]を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① [POWER ⏻/I]を押す。しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ[EJECT ≜]を押す。MDが出てきます。（出てこないときは、手順 ①② をくりかえす） ③ MDを取り替える。	—
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	52
	ディスクタイトルが正しく表示されない。	—	本機でグループ編集を行ったMDをグループ編集未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。	—
	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4モードで録音された曲をつなげたり、分けた部分は、若干の音漏れを生じることがあります。	
SD	パソコンにSDを入れたのに動かない。	パソコンのSDカードスロットは「著作権保護機能」対応ですか。	カードスロットが「著作権保護機能」に対応していないと動きません。	—
	SDを他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。	再生機器がAACに対応していますか。	AACに対応している再生機器でお聞きください。	—
	録音・編集・再生ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	15
		SD挿入部のふたが開いていませんか。	ふたをしっかりと閉めてください。	15
		カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	「書き込み禁止」を解除してください。 解除しないと録音・編集できません。	71
		SDメモリーカード以外のカードを入れていませんか。	本機はSDメモリーカード以外のカードには対応していません。	71
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	市販のクリーニングテープを使って、ヘッド部を清掃する。	5
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープを貼る。	68
	テープが取り出せない。	—	AM放送をMD/SDに録音または録音待機中はテープを取り出せません。 停止後に行ってください。	—
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
	本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する。 または他の機器のリモコンで本機が誤動作する。	—	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。 ① 本体の[FM/AM/AUX]を押し“AUX”を選ぶ。 ② 本体の[FM/AM/AUX]を押しながらリモコンの[1]または[2]を約2秒間押し、本体のリモコンモードを変更する。 ③ リモコンの[LIST/ENTER]を押しながら手順②で選んだ数字を約2秒間押し、リモコンモードを変更する。	—

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参　照ページ
その他	タイトルが表示されない。	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）を付けていませんか。	本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）を付けてください。	20、22
	WMA/MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3 ディスクを使用してください。	—
		1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5 MB（3 分程の曲で約 2 曲分）以上にしてください。	

**デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示されるまで
押したままにする**

DEMO OFF

押すたびに
DEMO OFF(切)⇄DEMO ON(入)

主な仕様

センターユニット部（SA-PM710SD）

アンプ部

実用最大出力（両 ch 動作）：25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %）
LOW、HIGH 6 Ω 総合出力
LOW：13 W + 13 W
HIGH：12 W + 12 W

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
TV 1 ch、2 ch、3 ch（モノラル）
アンテナ端子：75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

カセットデッキ部

トラック方式：4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
録音 / 再生：パーマロイ
消去：ダブルギャップフェライト
モーター：DC サーボモーター
録音方式：AC バイアス 100 kHz
消去方式：AC 消去
テープ速度：秒速 4.8 cm

CD 部

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化：16 ビット直線
光源：半導体レーザー
波長：780 nm
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
デジタルフィルター：8 fs
D / A コンバーター：MASH（1 ビット DAC）
CD-R、CD-RW 再生可
WMA、MP3※再生可
対応ビットレート：WMA 40 kbps ～ 192 kbps
MP3 32 kbps ～ 320 kbps

※ 対応規格
MPEG-1 Audio Layer Ⅲ
MPEG-2 Audio Layer Ⅲ (Low Sampling Frequency)
HighMAT 対応

MD 部

形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式：磁界変調オーバーライト方式
読取方式：半導体レーザー（λ =780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数：44.1 kHz
圧縮 / 伸張方式：ATRAC / ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
録音再生時間（ステレオ）
80 分 MD 使用：80 分（SP）、160 分（LP2）、320 分（LP4）

SD 部

サンプリング周波数：32 kHz（LP）/ 44.1 kHz（SP、XP）
圧縮/伸張方式：SD オーディオ再生
（AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式）
SD オーディオ録音（AAC 方式）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）

その他

高速録音（CD → MD）：最大 7 倍速
（平均 5.9 倍速、74 分 CD 使用時）
74 分 CD 時、約 12 分 30 秒で録音
高速録音（CD → SD）：最大 4 倍速（LP モード時）
74 分 CD 時、約 19 分で録音

本体総合

電源：AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力：57 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：175 mm × 250 mm × 345 mm
質量：約 5.7 kg

電源スタンバイ時の消費電力：約 0.1 W（DEMO OFF 時）

スピーカー部（SB-PM710）

形式：2 ウェイ 2 スピーカーシステム バスレフ型
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェープドドームタイプ
インピーダンス
LOW：6 Ω
HIGH：6 Ω
許容入力（IEC）
LOW：40 W（Max）
HIGH：40 W（Max）
出力音圧レベル：84 dB / W（1.0 m）
再生周波数帯域：50 Hz ～ 50 kHz（–16 dB）
60 Hz ～ 45 kHz（–10 dB）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：145 mm × 251 mm × 205 mm
質量：約 2.2 kg

注）1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社はこの SD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
75 ～ 77 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。
1.当社は、お客様の個人情報を、ナショナル・パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2.当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3.お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	SD ステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM710SD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル・パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0904

さくいん

愛情点検　長年ご使用のSDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	品番	SC-PM710SD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT7865-4S
H1204KA4095